令和 2 年度(2020 年度)用	小学校社会科用

「新しい社会」
臨時休業明けの
年間指導計画参考資料
【6年】

※「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」の活動内容や時数は考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
※以下の案では，第 6 学年の総時数 105 時間のうち，17 時間（政治・国際編 6 時間，歴史編 11 時間）を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」として提示しています。

東京書籍

単元名	1. わたしたちの生活と政治（オリエンテーション）			教科書のページ	政治・国際編 p.6～7
配当時数	1時間 （学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし）	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) わたしたちのくらしを支えるしくみ				
・わたしたちのくらしは，どのようなしくみで支えられているのでしょうか。 p.6～7	1	①国の政治の中心地の写真を見て，気づいたことを話し合う。 ・首相官邸や国会議事堂，最高裁判所がある。 ②まちでくらす人々が，どんな願いをもっているのかを話し合い，その願いと市や国の政治とのつながりに関心をもつ。 ・まちには，いろいろな人々が，それぞれの願いをもってくらしていること。	◆生活経験や学習経験から，まちでくらしている人々の願いを話し合わせる。	
		めあて　わたしたちのくらしと政治は，どのように結びついているのでしょうか。身のまわりのことから調べ，考えましょう。		

小単元名	1. わたしたちのくらしと日本国憲法			教科書のページ	政治・国際編 p.8～21
配当時数	6時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	4月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，日本国憲法の基本的な考え方に着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで我が国の民主政治を捉え，日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え，表現することを通して，日本国憲法は国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①日本国憲法の基本的な考え方について，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，我が国の民主政治を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ，日本国憲法は国家の理想，天皇の地位，国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや，現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。
	思考・判断・表現	①日本国憲法の基本的な考え方に着目して，問いを見出し，我が国の民主政治について考え表現している。 ②日本国憲法の基本的な考え方と国民生活を関連付けて，日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①日本国憲法の基本的な考え方について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) くらしの中の法やきまり				
・つかむ　日本国憲法とはどのようなものなのでしょうか。 p.8～9	1	①写真を見て，くらしの中にある法やきまりを探す。また，何のために法やきまりがあるのか考える。 ・車や歩行者が交通ルールを守ると，道路を安全に利用できる。 ・ごみの収集日を守らなければ，臭いやよごれが発生してしまう。 ・法やきまりを守ることは，住みよい社会をつくることにつながっている。 わたしたちのくらしに関わるすべての法やきまりは，日本国憲法にもとづいている。	◆５年生までの学習を想起し，既習事項とつなげて法やきまりをとらえられるようにする。 ◆法やきまりは，くらしとどのようなつながりがあるのか考えさせる。	
(2) 日本国憲法の考え方				
・つかむ　日本国憲法にはど	1	①日本国憲法の基本的	◆日本国憲法がつ	

のような考え方があるのか話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.10〜11		な考え方を知る。 ・日本国憲法は，戦後，人々が平和を願う中でつくられた。 ・日本国憲法には，三つの原則がある。 ・国民のことを考えた内容になっている。 ②くらしと日本国憲法のつながりについて気づいたことや疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。 ・教科書が無償で配られることは,憲法に関係があったんだね。 ・だれもが生活しやすくすることも憲法に関係があるんだね。 ・くらしと憲法のつながりには，他にどんなものがあるのだろう。	くられた時期と三つの原則の考え方を関連させて考えさせる。 ◆家族の話を参考にしながら身の回りのことについて考えさせる。	
		学習問題　わたしたちのくらしと日本国憲法の三つの原則は，どのようにつながっているのでしょうか。		
○ 学習の進め方				
p.12〜13		①単元の「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という学習の流れを確認する。 ②学習問題に対する予想や調べ方などを発表し合い，学習計画を立てる。 ・日本国憲法の三つの原則は，市の政治に生かされているのではないか。 ・日本国憲法の考え方は，さまざまな立場の人々がくらしやすい社会をつくることにつながっているのではないか。 ・教科書や資料集に加えて，新聞記事や広報誌，インターネットで日本国憲法に関する資料を集めて調べていく。 ・憲法の三つの原則ごとに調べていく。 ［調べること］ ・基本的人権の尊重の考え方とわたしたちのくらしのつながり ・国民主権の考え方と	◆学習の進め方を参考に，学習計画を立てるようにする。	

		わたしたちのくらしのつながり ・平和主義の考え方とわたしたちのくらしのつながり		
(3) くらしの中の基本的人権の尊重				
・**調べる**　憲法の基本的人権の考えは，市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.14～15	1	①基本的人権の尊重の考えが反映されている市の施策を調べ，わかったことや考えたことを話し合う。 ・基本的人権の考えが理解できるように，講演会を開いたり，標語で伝えたりしている。 ・地域に住む外国人市民の生活をサポートすることも基本的人権の考え方につながっているんだね。 ②憲法が定める国民の権利と義務について，わかったことや考えたことを話し合う。 ・男女平等 ・裁判を受ける権利 ・教育を受ける権利 ・居住の自由 ・政治に参加する権利 ・職業の自由 ・言論の自由 ・学問の自由 ・健康で文化的な生活を営む権利 ・三大義務（教育・勤労・納税） ③本時のめあてについての考えをまとめる。 日本国憲法の基本的人権の尊重にもとづいて行われている身近な取り組みには，国民の生まれながらの権利を保障するものがある。	◆尼崎市で行われている「じんけんスタディツアー」や「あまがさきスタートガイド」などの取り組みをもとに，すべての人に権利が与えられていることを理解させる。 ◆具体例を通して，基本的人権の尊重についてとらえさせる。 ◆権利と義務のつながりについても考えさせる。	
・**調べる**　憲法の国民主権の考えは，市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.16～17	1	①国民主権の考えが反映される市の施策を調べ，憲法が定める国民主権について，わかったことや考えたことを話し合う。 ・政治の代表を選ぶのは市民である。 ・市役所には，市民の意見を政治にいかすための制度がある。	◆選挙や情報公開制度について，尼崎市を例に，市民が政治の中心であり，市民の声が政治に反映されていることについて考えさせる。 ◆市と国の政治を比べ，共通点を	

		・市民の意見を聞き，市の条例をつくっている。地域をよくするためには，一人一人の行動が大切だと思った。 ②国の政治に反映される国民主権の考えを調べる。 ・国会議員を選ぶのは国民である。 ・国民の声で政治が変わることがある。 ・最高裁判所の裁判官も国民が審査している。 ③本時のめあてについての考えをまとめる。 日本国憲法の国民主権にもとづいて行われている身近な取り組みには，選挙や情報公開制度などがあり，国民が主権者であることを示している。	出させて，政治の中心は国民であることを考えさせる。	
(5) くらしの中の平和主義				
・調べる　憲法の平和主義の考えは，市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。 p.18～19	1	①平和を願う市の施策を調べ，憲法が定める平和主義について考える。 ・公園に世界平和の鐘がある。 ・戦争の悲惨さや平和の尊さを伝える取り組みがある。 ・平和と人権は強いつながりがあり，戦争がもっとも人権を侵害することだと思った。 ②市の平和を願う制度は，国でも同じように行われていることを調べ，わかったことや考えたことを話し合う。 ・沖縄や東京で行われている式典では，戦争でなくなった人を思い，平和を祈っている。 ・唯一の被爆国である日本は，世界に向けて平和を願う心をアピールしている。 ③本時の問いについての考えをまとめる。	◆市では平和を願うためのさまざまな取り組みをしていることを，資料からとらえさせる。 ◆自分たちの地域の取り組みについても調べ，平和主義の考え方が生かされていることに気づけるようにする。 ◆国のレベルや全国の各地でも平和に関する行事が行われていることを資料から見つけ，唯一の被爆国である我が国の立場や意味を話し合い，まとめさせる。	

		日本国憲法の平和主義にもとづいて行われている身近な取り組みは，戦争の悲惨さを伝えたり，平和を願ったりするさまざまな活動として表れている。		**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②③④について説明をする。**
(6) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べたことを整理し，自分の考えをノートに書き，友だちと話し合ってみましょう。 p.20～21	1	①学習をふり返って，わたしたちのくらしに日本国憲法の考え方がどのように生かされているのかまとめる。 ・子どもはみな，学校で教育を受ける権利が保障されている。 ・18才以上のすべての国民に選挙権があり，政治に参加する権利が与えられている。 ・二度と戦争をしないことや平和への思いをもてるようにしている。 ②わたしたちのくらしに日本国憲法がどのように生かされているのか，さまざまな場面でまとめる。 ・車椅子が通りやすいように改札が広く作られている。だれもが生活しやすいという基本的人権の尊重の考え方が生かされている。 ・働く権利と義務がある。権利だけでなく，国民として果たさなければならない義務もある。 ・日本は二度と自ら戦争をしないことを決めている。 ③日本国憲法がなぜ大切にされているのか考え，話し合う。 ・三つの原則により，だれもが生活しやすいような権利が保障されたり，政治に参加したり，平和な国をつくったりすることができるようになっている。だから，	◆リード文を参考に，学習をふり返り，まとめられるようにする。 ◆教科書の写真だけでなく，三つの原則の視点を，身近な事例からも考えさせたい。 ◆日本国憲法の基本的な考え方とくらしを関連づけて，日本国憲法の特色と役割を考えて話し合えるようにさせたい。	教科書やノートを見ながら，学習をふり返り，わたしたちのくらしに日本国憲法がどのように生かされているかや，日本国憲法がなぜ大切にされているかについて，自分の意見を教科書の空欄やノートに書く。【1時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

		これからも守っていく必要があると思う。 ・わたしたちのくらしは日本国憲法とは切っても切れない関係で結びついていて，わたしたちは憲法によって守られている。 ④学習問題についてわかったことをまとめる。 日本国憲法は，国家や国民生活の基本を定めており，我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方にもとづいている。		

小単元名	2. 国の政治のしくみと選挙			教科書のページ	政治・国際編 p.24～31
配当時数	4時間 （そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし）	活動時期	4～5月	学習指導要領の内容	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の政治の仕組みについて，日本国憲法の基本的な考え方に着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで，我が国の民主政治を捉え，国会，内閣，裁判所と国民との関わりを考え，表現することを通して，立法，行政，司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解するとともに，主体的に問題を追究・解決しようとする態度や，学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・国会，内閣，裁判所のそれぞれの役割などについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，図表や文などにまとめ，立法，行政，司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。
	思考・判断・表現	・国会，内閣，裁判所の働きと国民を関連付けて考えたり，学習したことを基に国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして，表現している。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 国会の働き				
・**調べる**　国会の働きについて調べて整理したことをもとに，最後に一文で説明しましょう。 p.24～25	1	①国会の働きについて整理し，一文で説明する。 ・国会には，衆議院と参議院がある。 ・法律や予算などを多数決で決める。 国会は唯一の立法機関で，衆議院と参議院という二つの話し合いの場があり，選挙で選ばれた国会議員によって，国民の生活にかかわる法律や政治を進めるための予算などを多数決で決める。	◆国会の働きや選挙の働きについて，国民の願いとの関連で調べさせる。	
(2) 選挙のしくみと税金の働き				
・**調べる**　選挙のしくみや税金の働きについて調べて整理したことをもとに，最後に自分の考えを書きましょう。 p.26～27	1	①選挙や税金に関する資料を収集して調べ，選挙のしくみや税金の働きについて整理し，一文で説明する。 ・国会議員，都道府県や市区町村の長や議員は選挙で選ばれる。 ・公共サービスや公共施設にかかる費用の多くは，税金によってまかなわれている。	◆選挙のしくみや税金の働きについて，国民の生活との関連で調べさせる。	

		国会での話し合いは，国民の代表者として選挙で選ばれた国会議員によって進められる。国の税金の集められ方や使われ方は，国民の代表である国会議員によって決められる。		
(3) 内閣の働き				
・**調べる**　内閣の働きについて調べて整理したことをもとに，最後に一文で説明しましょう。 p.28〜29	1	①内閣に関する資料を収集して調べ，内閣の働きについて整理し，一文で説明する。 ・内閣は，内閣総理大臣が中心となって，国民のためにいろいろな仕事をしている。 内閣では，国会で決められた予算や法律にもとづいて，国民のためにいろいろな仕事をしている。	◆内閣のしくみや働きについて，国民の願いとの関連で調べさせる。	
(4) 裁判所の働き				
・**調べる**　裁判所の働きについて調べて整理したことをもとに一文で説明しましょう。最後に国会・内閣・裁判所の図を完成させましょう。 p.30〜31	1	①裁判所に関する資料を収集して調べ，裁判所の働きや裁判員制度について整理し，一文で説明する。 ・裁判所は，法律にもとづいて，さまざまな問題を解決し，国民の権利を守っている。 ②学習したことをもとに，三権分立の関係を図にまとめる。 国会・内閣・裁判所は，国の重要な役割を分担している。	◆裁判所の働きについて，国民の権利との関連で調べさせる。 ◆国会，内閣，裁判所の関係を考えさせる。	

小単元名	3. 子育て支援の願いを実現する政治			教科書のページ	政治・国際編 p.34～44, 58～59
配当時数	7時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)	活動時期	5～6月	学習指導要領の内容	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え，国民生活における政治の働きを考え，表現することを通して，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	①政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，問いを見出し，国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 ②国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①我が国の政治の働きについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) わたしたちの願いと児童センター				
・つかむ　児童センターの様子と子どもをもつ親の願いについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.34～35	1	①児童センターを利用した経験を話し合う。 ・赤ちゃんや小さな子どもだけでなく，小学生や中学生も利用している。ここでけん玉を教えてもらったことがある。 ・誰でも無料で遊べて，小さな子どもを連れた親がたくさん来ている。お父さんも弟といっしょによく遊んでいる。 ②児童センターを訪ねて，どのような人が，なぜ利用しているのかを調べる。 ・小さい子どもを安心して遊ばせることができ，同じ年ごろの子どもをもつ親同士で話ができるので助かる。 ・児童センターには，	◆地域にある子育て支援施設の利用経験を話したり実際に見学をしたりして，自分たちの生活と関連させながら学習への興味・関心を高める。	

		子どもをもつ親の願いや工夫がある。 ③児童センターを訪ねてわかったことや疑問から学習問題をつくる。 ・児童センターは，どうやってつくられたのかな。 ・どうして無料で遊べるのかな。	◆利用経験や見学をしてわかったこと，疑問などをたくさん出させながら児童センターの工夫に気づかせ，児童センターがどのようにつくられたのかを追究する学習問題をつくる。	
		学習問題　児童センターがつくられるまでには，どのような人たちの，どのような働きがあったのでしょうか。		
		④学習問題について予想し，学習計画を立てる。 ・児童センターの活動について ・児童センターができるまでの市役所の働きについて ・児童センターができるまでの市議会の働きについて ・児童センターができるまでの税金の働きについて	◆資料4の年表を参考にして学習問題を予想させ，解決のためには何を調べればよいかを考えて，学習計画を立てる。	
(2) あすぱるの活動				
・**調べる**　あすぱるでは，どのような活動が行われているのでしょうか。 p.36～37	1	①写真資料やあすぱる所長の話を読み取り，「あすぱる」ではどのような活動をしているのかを調べる。 ・親子で遊ぶイベントや父親向けのイベントがある。 ・中学生や高校生の居場所となる工夫もある。 ②施設を運営している人たちは，どのような目的をもって活動しているのかを考える。 ・子どもや親が安全で安心して遊べるようにする。 ・子どもだけでなく，親の子育てについてのサポートをする。	◆写真資料を見ながら，児童センター「あすぱる」の工夫について考えるようにする。 ◆あすぱる所長の話や資料8「あすぱる通信」を読み取り，施設で働く人の願いや，児童センターがイベントだけではなく，広報紙の発行など，利用者のためにさまざまな活動をしていることを理解させる。	

		児童センター「あすぱる」は，利用者の願いを取り入れながら，18才未満の子どもや親を対象に，安全で安心できる活動や子育て支援活動を行っている。		
(3) 市役所の働き				
・**調べる**　市では，どのような考えのもとにどのようにあすぱるをつくったのでしょうか。 p.38～39	1	①市役所を見学したり，市役所の人に取材をしたりして，「あすぱる」ができるまでの市役所の働きについて調べる。 ・児童センター「あすぱる」は，子育て支援を目的としており，市民の要望を反映して建設された。 ・市が計画案や予算案を作成し，市議会の話し合いで建設されることが決定した。 ②資料3の図を見ながら，児童センター「あすぱる」ができるまでの市役所の働きを説明する。 ・子育て支援に関わる市民の要望を聞く。 ・国の法律にもとづき，専門家を入れて計画案をつくったり費用を計算したりする。 ・案を市議会に提出する。 ・国や県からの補助金を申請する。 児童センター「あすぱる」は，国の法律にもとづき，市民の要望や市の実態をふまえて，市役所で計画を立て，予算を計算して建設されている。	◆写真資料を参考に，市民の要望を反映させた事業として，子育て家庭どうしが助け合える学習会があることを確認する。 ◆市役所の働きを，市民と市議会との相互関係の視点で説明できるようにする。 ◆市役所は，児童センター「あすぱる」の建設だけでなく，利用者を増やすために子育てガイドブックを活用するなどの取り組みも行っていることに気づかせる。	
(4) 市議会の働き				
・**調べる**　議会では，どのようにしてあすぱるをつくることを決めたのでしょうか。 p.40～41	1	①側注の「市議会の仕事」などを活用して，「あすぱる」ができるまでの市議会の働きについて調べる。 ・市議会は，市役所の提案にもとづき，「あすぱる」をつくることやそのための予算を話し合って決	◆市議会の議場の写真を見せ，自分たちの住んでいる自治体にも議場があることに気づかせる。	

		めている。 ・その他の子育て支援事業やさまざまな事業も，国の法律や市民の要望にもとづいて市議会で決定している。 ②資料3の絵や資料6の図を見ながら，市民と市議会の関わりについて考える。 ・選挙によって選ばれた市民の代表である市議会議員が，必要なことを話し合って決めている。 ・市だけで解決できない問題について，県や国に働きかけることも市議会議員の仕事である。 児童センター「あすぱる」は，市の提案にもとづき，市民による選挙で選ばれた市議会議員が，市議会で計画や予算を決定して建設されている。このように，市民と市議会は密接に関わっている。	◆資料6を見ながら，市民と市の政治との関わりについて，市民と市議会との相互関係の視点で説明できるようにする。 ◆児童センター「あすぱる」の建設が市の事業であることから，その費用と税金との関わりに関心がもてるようにしていく。	
（5）税金の働き				
・**調べる**　あすぱるをつくるための費用は，どこから出ているのでしょうか。 p.42～43	1	①児童センター「あすぱる」を建設，運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。 ・「あすぱる」の建設に，１億4000万円かかっている。 ・市は住民や会社から集めた税金や国や県からの補助金などを使って事業を行っている。 ②資料4「川口市の収入の内訳」などから，税金の集められ方やその使われ方について調べ，税金の役割について考える。 ・納めた税金の中で一番多く使われるのは，市民の生活を支えるお金である。 ・税金はわたしたちの生活を支える大切なもので，多くの人が必要とする事業に使	◆調べる前に，建設費や運営費としてどのくらいの金額がかかっているのかを予想させ，その費用はどこから出ているのかを調べる意欲を高める。 ◆税務署などに出前授業を依頼し，実際に話を聞くことができるようにすると税金への理解をさらに深められる。 ◆公共的な事業の例を挙げさせながら税金の役割や税金の使われ方を理解させるとともに，納税の大切さも考え	

		われる。 人々の願いを実現するための費用には，市民や会社などから集められた税金や，国や県からの補助金などが使われる。税金は，わたしたちの生活や社会を支える大切なものである。	させたい。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②③④について説明をする。**
（6）まとめる				
・まとめる　学習問題について，調べてわかったことを整理し，児童センターがつくられるまでの政治の働きについてまとめましょう。 **p.44**	1	①学習問題をふり返る。 ②市民と市役所と市議会の関係を表す矢印の意味を（　）に書き入れ，図をもとに，児童センターがつくられるまでの政治の働きについて自分の考えをノートにまとめる。 ③一人一人がノートにまとめた政治の働きについて話し合い，グループで政治の働きを一つに整理する。 ④グループで整理したまとめを発表する。 市の政治は，市民の要望をもとに，わたしたちの生活の安定と向上を図る大切な働きをしている。	◆学習問題を確認し，ノートをふり返りながら，「市民・市役所・市議会の相互関係」に着目しやすくなるように図に整理させてから，学習問題についての自分の考えをまとめさせる。 ◆グループ内で考えを交流させながら，何のために政治があるのかを考えさせ，政治の働きを一般化した言葉で表現させるようにする。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，教科書 p. 44の図の（　）に矢印の意味を表す言葉を書き入れるとともに，児童センターがつくられるまでの政治の働きをノートにまとめる。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**
（7）公園づくりについて話し合おう				
・いかす　公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え，それらの意見を尊重しながらどのような公園をつくったらよいか話し合いましょう。 **p.58～59**	1	①どのような公園がよいのか，自分の願いを出し合う。 ②いろいろな人の話を聞いて，ほかにどのような立場があるか，考える。 ③多様な意見をまとめていくために，どのようなことに気をつけるべきか話し合う。 みんなの願いを実現するには，さまざまな人の声を聞き，さまざまな立場になって願いを考え，積極的に意見を伝えることが大切である。	◆子どもやお年よりなど，いろいろな人が，公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。	学習をふり返り，教科書 p. 58 を見ながら，地域に公園をつくる場合，自分ならどのような公園にしたいか考える。p. 58～59を見ながら，公園づくりに関するさまざまな意見があることや，多様な意見を取りまとめていく政治の働きについて，考えたことなどをノートに書く。【１時間】

小単元名	3. 震災復興の願いを実現する政治			教科書のページ	政治・国際編 p.46～56, 58～59
配当時数	7時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動2時間)	活動時期	5～6月	学習指導要領の内容	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		我が国の政治の働きについて，政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，まとめることで国や地方公共団体の政治の取組を捉え，国民生活における政治の働きを考え，表現することを通して，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解するとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどについて，見学・調査したり各種の資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，国や地方公共団体の政治の取組を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ，国や地方公共団体の政治は，国民主権の考え方の下，国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。
	思考・判断・表現	①政策の内容や計画から実施までの過程，法令や予算との関わりなどに着目して，問いを見出し，国や地方公共団体の政治の取組について考え表現している。 ②国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて政治の働きを考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①我が国の政治の働きについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 東日本大震災の発生				★他教科との関連:理科
・つかむ　東日本大震災の発生とまちの人たちの願いについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.46～47	1	①「大震災直後の気仙沼の様子」や「新聞の号外」を見て，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ②震災直後と現在のまちや漁港の様子を比べて，気づいたことを話し合う。 ・震災で大きな被害を受けた漁港では，3か月後にはかつおの水あげを再開している。 ③被災した人々の願いを実現するためにどうしたらいいか話し合い，学習問題をつくる。 ・がれきは，国や県，市が取りのぞいた。 ・国や県，市が人々の願いを実現するように努力した。	◆震災直後の写真や新聞記事を見せ，東日本大震災による被害の大きさについて考えさせる。 ◆震災直後と現在のまちや気仙沼漁港の様子を比較して，ちがいを考えさせる。 ◆被災した人々の願いの資料を読み取らせ，人々の願いを実現する政治の働きに関心をもたせる。	

		学習問題　災害にあった人々の願いは，どのような人たちの，どのような働きによって実現されるのでしょうか。		
(2) 東日本大震災への緊急対応				
・**調べる**　東日本大震災が発生したとき，市や県，国は，どのような取り組みをしたのでしょうか。 p.48～49	1	①地震直後の市の取り組みについて調べる。 ・災害対策本部を設置して，避難所の開設や被害状況の確認などを指示したこと。 ②地震直後の県の取り組みについて調べる。 ③地震直後の国の取り組みについて調べる。 ・各県と連絡を取りながら，自衛隊の派遣人数を増やしたり，他国への救助要請，必要な物資や機材の準備を進めたりしたこと。 震災直後から，市や県，国がそれぞれ連携・協力して被災者を助けるためにすぐに動き出している。また，大震災以前から，緊急時に対応するための体制がつくられている。	◆写真資料をもとに，市の取り組みを具体的にとらえさせる。 ◆「災害から人々を助ける政治の働き」の関係図をもとに，国，県，市が法律にもとづいて，連携，協力して緊急事態に対応していることをとらえさせる。	
(3) 復旧・復興に向けた国の支援				
・**調べる**　復旧・復興に向けて，国はどのような取り組みを行ったのでしょうか。 p.50～51	1	①災害からの復旧に向けた国の取り組みを調べる。 ・復旧を進めるために，第一次補正予算を成立させたこと。 ②災害からの復興に向けた国の取り組みを調べる。 ・東日本大震災復興基本法を成立させたこと。 ・第二次補正予算，第三次補正予算を成立させたこと。 国は，必要な法律を急いで制定したり，特別な予算を立てたりして，被災地の支援を行っている。	◆年表をもとにして，予算や法律などの政治の働きを時間的にとらえさせる。 ◆「復旧・復興に向けた政治の働き」の図をもとに，予算や法律にもとづいた具体的な取り組みを読み取らせる。	

(4) 復興を願う市や市民の取り組み				
・**調べる**　復興に向けて，市や市民は，どのような計画を立てて，どのような取り組みをしてきたのでしょうか。 p.52～53	1	①市や市民の取り組みについて調べる。 ・市では，震災復興計画をつくり，計画にもとづいて，復興に向けたさまざまな取り組みを行っていること。 市は震災復興計画を作成し，計画にもとづいて，復興に向けた取り組みを行っている。また，市民も国や県，市の支援を受けながら，新しいまちづくりに向けて，みんなで協力している。	◆年表や市役所の方の話をもとに，復興に向け，市がどのような計画を立て，どのような取り組みを行ってきたのか，具体的にとらえさせる。 ◆漁港の方の話から，震災から立ち上がり，復興に向かう人々の姿をとらえさせる。	
(5) これからに向けたまちづくり				
・**調べる**　これからに向けてどのような課題があり，どのような取り組みが行われているのでしょうか。 p.54～55	1	①復興を進めている被災地で，現在課題になっていることを調べる。 ・震災前から人口の減少が課題となっている。 ②現在，どのような取り組みが行われているのかを調べる。 ・各地から移住してくる人への情報提供も行っている。 現在，課題となっていることもあるが，市と市民が協力をして魅力あるまちづくりを進めている。	◆現在も課題があることをとらえさせる。 ◆市や市役所が協力してまちづくりをしていることをとらえさせる。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(6) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを表にまとめ，自分の考えを書きましょう。 p.56	1	①災害にあった人々の願いと，政治の働きについて，表に整理する。 ②まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か，自分の考えを書く。 ・まちの特色を生かしてさまざまなことに取り組んでいく。 人々の願いを実現するために，国や県，市の政治の働きがかかわっており，それらは，国民の生活の安定と向上を図るために重要な働きをしている。	◆東日本大震災からの復興には，たくさんの人々が関わっていること，復興は国民の願いでもあることに気づかせる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，教科書p.56の表に書き込んでまとめるとともに，災害復興における政治の働きについて学習したことをふまえ，まちづくりを進めていくうえで大切なことは何か，自分の考えをノートに書く。【1時間】 **※各自まとめたものを提出させ，学習状況を確認する。**

（7）公園づくりについて話し合おう				
・**いかす**　公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え，それらの意見を尊重しながらどのような公園をつくったらよいか話し合いましょう。 p.58～59	1	①どのような公園がよいのか，自分の願いを出し合う。 ②いろいろな人の話を聞いて，ほかにどのような立場があるか，考える。 ③多様な意見をまとめていくために，どのようなことに気をつけるべきか話し合う。 みんなの願いを実現するには，さまざまな人の声を聞き，さまざまな立場になって願いを考え，積極的に意見を伝えることが大切である。	◆子どもやお年よりなど，いろいろな人が，公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。	学習をふり返り，教科書 p.58 を見ながら，地域に公園をつくる場合，自分ならどのような公園にしたいかを考える。p.58～59 を見ながら，公園づくりに関するさまざまな意見があることや，多様な意見を取りまとめていく政治の働きについて，考えたことなどをノートに書く。【１時間】

（学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動１時間）

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
（1）新聞を読もう				
・**いかす**　政治や憲法に関連した新聞記事から，気になったことを出し合いましょう。 p.62～63	1	①政治に関して気になった記事を選び，発表する。 ・選挙，内閣，司法，震災復興　など ②みんなの発表を通して，感じたことや考えたことを話し合う。 新聞は世の中で起こっている出来事を数多く取り上げており，ふだんから新聞を読んで考えることが大切である。	◆同じ日の新聞でも取り上げる記事が違うことがあり，同じ記事でも新聞によって書き方や評価が異なることがあることに注目させる。	これまでの学習をふまえ，新聞記事やインターネットの新聞社の記事を読んで，政治に関して気になる記事を見つけ，記事の内容と政治や憲法との関連や，記事について考えたことなどをノートに書く。【１時間】

単元名	2. 日本の歴史(オリエンテーション)			教科書のページ	歴史編 p.2～7
配当時数	2時間 (学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし)	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) (2) 歴史学習の基本をおさえよう①～③				
・身近にある歴史を見つけよう p.2～3 ・歴史博物館へ行こう p.4～5 ・年表の見方を知ろう p.6～7	2	①身のまわりの歴史を調べて，ノートやカード，地図などにまとめる。 ・現地に足を運ぶことを前提に，自分が住んでいる地域の歴史を調べる。次に都道府県内の歴史を調べる。 ②「まなび方コーナー」を参考にして，歴史博物館の利用の仕方を学ぶ。 ③歴史博物館を訪ね，見学・体験をする。 ・資料の解説文を読んだり，学芸員から話を聞いたり，展示物や映像シアターなどを見たりして，調べ学習に取り組む。 ④「まなび方コーナー」を参考にして，年表の見方を調べる。 ・西暦，世紀，時代の意味を調べる。 ・時代と出来事をつなげる教科書の例題を考える。 ⑤年表をもとにして，時代ごとの主な人物について考える。 ・例示されている人物について，教科書を使って大まかな内容を調べる。 **めあて**　わたしたちの国の歴史には，どのようなできごとがあり，どのような人物の働きがあったのでしょうか。	◆身のまわりの歴史の対象については，まず自分の校区や住んでいる市区町村程度を，次に県単位まで広げるようにする。 ◆歴史博物館では，体験コーナーを設けていることが多い。実際に体験することを重視したい。 ◆等尺年表を使って時代ごとの長さを比較するなど，これから学習する内容に関心をもたせる。 ◆巻末の年表もあわせて活用する。	

小単元名	1. 縄文のむらから古墳のくにへ			教科書のページ	歴史編 p.8～23
配当時数	7時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	6月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ア)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や地図，年表などの資料で調べ，世の中の変化の様子を考え，表現することを通して，狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに，むらからくにへと変化したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，代表的な文化遺産などについて，遺跡や地図，年表などの資料で調べ，狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，むらからくにへと変化したことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）について考え表現している。 ②狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子を関連付けたり総合したりして，世の中の変化の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①狩猟・採集や農耕の生活，古墳，大和朝廷（大和政権）による統一の様子について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 大昔のむらのくらし				
・**つかむ**　縄文のむらのくらしの様子について話し合いましょう。 p.8～9	1	①三内丸山遺跡や出土品の写真，「縄文時代の人々の1年の生活」の図などを見て，当時の人々がどのようにくらしていたのか話し合う。 ・たて穴住居とよばれる住まいにくらしていた。 ・狩りや漁，採集中心の生活であり，食べ物が手に入らないこともあった。 ・生活に必要な道具を，石，木，骨などでつくっていた。 ・ねん土を焼いてつくった縄文土器を使って煮たりたくわえたりしていた。 縄文のむらの人々は，協力して狩猟や採集の生活を営み，必要な道具は，石，木，骨などでつくっていた。	◆大きさ，材質，使われ方など，出土品を観察するときの視点を知らせる。 ◆「縄文時代の人々の1年の生活」から，季節ごとに，どのようなものを手に入れていたのか調べさせる。	

(2) 板付遺跡と米づくり				
・**つかむ**　米づくりが始まったころのむらや人々の様子について見てみましょう。 p.10～11	1	①板付遺跡の出土品の写真や米づくりの様子の想像図を見て，米づくりが始まり，人々のくらしの様子がどのように変化したのか，気づいたことを話し合う。 ・米づくりのためのさまざまな道具が板付遺跡から出土している。 ・指導者を中心に力を合わせて米づくりをしている。 ・米づくりによって，食料を安定的に得ることができるようになった。 弥生のむらの人々は，定住して農耕の生活を営み，指導者を中心に共同で米づくりを行っていた。	◆道具がどのように使われていたのかを想像図の中で確認し，くらしの様子を具体的につかませる。 ◆資料から，米づくりが大陸から伝わったことや，日本の各地に広がっていったことをとらえさせる。	
(3) 縄文時代と弥生時代のくらし				
・**つかむ**　縄文時代と弥生時代の想像図を見比べながら話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.12～15	1	①三内丸山遺跡と吉野ヶ里遺跡の想像図を調べて，それぞれの生活の様子について，わかったことや考えたことを話し合う。 ・縄文と弥生では，衣服の生地の質が違うようだ。住まいも変わってきた。 ・縄文のむらでは，狩りや漁をしたり，木の実をとったりしていたが，弥生のむらでは米づくりをし，とれた米を保存していたようだ。 ・弥生のむらでは，まわりに堀や柵がつくられている。兵士のような人もいる。 ②疑問に思ったことを発表し合い，学習問題をつくる。 ・食料を安定して手に入れられるようになって人口が増え，田も広がったのではないか。 ・道具はどのように変化していくのだろう。	◆縄文のむらと弥生のむらを比較し，くらしの様子の違いについて気づかせる。 ◆米づくりが始まって，縄文と弥生のむらにさまざまな違いが生まれたことを確認し，人々のくらしや社会の様子の変化を予想させる。	

		・弥生のむらにあった堀や柵は何のためにつくられたのだろう。 ・社会の様子は，どう変わっていったのだろう。 **学習問題**　米づくりが始まったことで，人々のくらしや世の中は，どのように変わっていったのでしょうか。		
(4) むらからくにへ				
・**調べる**　米づくりの広がりによって，むらの様子はどのように変わったのでしょうか。 p.16〜17	1	①米づくりの広がりによって，むらの様子がどのように変わっていったのかを調べる。 ・米づくりの広がりにより，むらとむらの間で争いが起こった。 ・むらの指導者は，むらを支配する豪族となり，豪族の中には，まわりのむらを従えてくにをつくり，王とよばれる人も現れた。 ・各地の王や豪族は，大陸の進んだ技術や文化をくにづくりに役立てた。 米づくりが広がると，力の強いむらが周辺のむらを従え，次第にくにへと発展した。くにを支配する王や豪族は，大陸の技術や文化を取り入れ，くにづくりに役立てた。	◆矢じりが刺さったままの人骨と集落を囲む柵を関連付けて考えさせる。 ◆魏志倭人伝の部分要約，出土品などから，邪馬台国をはじめとする当時のくにの様子や，大陸と交流があったことをつかませる。	
(5) 巨大古墳と豪族				
・**調べる**　古墳は，何のために，どのようにして，つくられたのでしょうか。 p.18〜19	1	①仁徳天皇陵古墳の写真，古墳を築いている様子の想像図，出土品などから，古墳づくりの目的，王や豪族たちの力の大きさについて考え，話し合う。 ・古墳の大きさ，多くの人を動員してつくらせたこと，出土品などから，古墳にほうむられた人物が大きな力をもっていたといえる。 ・王や豪族たちは，自分の力の大きさを示すために古墳をつく	◆巨大な古墳を見た人が，どのような思いを抱いたかを考えさせる。 ◆古墳の出土品から，当時の様子がうかがえることに気づかせる。	

		らせた。 ３～７世紀には，すぐれた技術者を指図し，多くの人々を働かせて築く，巨大な古墳が各地に現れた。		
（6）大和朝廷（大和政権）と国土の統一				
・**調べる**　国土は，どのように統一されていったのでしょうか。 p.20～21	1	①大和朝廷の力が各地に広がり，国土がどのように統一されていったのかを調べる。 ・ワカタケル大王の名が記された鉄刀と鉄剣が熊本県と埼玉県の古墳から出土したことから，大和朝廷の力の広がりがわかる。 ・神話がつくられるほど，大和朝廷は，大きくて強い「国」になっていった。 ・渡来人の中には，建築や土木工事，焼き物などの技術を身につけた人々がおり，進んだ技術を大陸からもたらした。 大和地方に，より大きな力をもつ大和朝廷（大和政権）が現れ，５～６世紀ごろには，九州地方から東北地方南部までの豪族や王を従え，大陸からの文化を積極的に取り入れた。	◆国の成り立ちに関する神話や伝承を活用し，当時の人々のものの見方や考え方に関心をもたせるとともに，それらは史実ではないことに留意する。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
（7）新聞にまとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことをノートに整理し，新聞にまとめましょう。 p.22～23	1	①学習問題について調べてきたことを，ノートに整理し，まとめる。 ・米づくりの広がりによって，むらがくにへと発展していった。 ・王や豪族たちは，渡来人の技術や文化をくにづくりに役立てた。 ・大和朝廷が勢力を広げ，国としての日本の形ができ上がっていった。 ②調べたことを整理して新聞をつくる。	◆「ことば」で取り上げている言葉を使って，まとめを書かせる。 ◆学習問題について調べてきた事実をノートに整理し，それをもとに新聞を書かせ，最後に社説として自分の考えを書かせる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，調べてきたことをノートに整理して，教科書を参考に新聞をつくる。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

		狩猟・採集の生活から，農耕の生活となり，生活や社会の様子は変化した。むらは次第にくにへと発展し，各地に大きな力をもつ豪族が出現し，やがて大和朝廷(大和政権）により国土が統一されていった。		

小単元名	2. 天皇中心の国づくり			教科書のページ	歴史編 p.24～34
配当時数	6時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	7月	学習指導要領の内容	(2)ア-(イ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，この頃の世の中の様子を考え，表現することを通して，大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を手掛かりに，天皇を中心とした政治が確立されたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料で調べ，大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，天皇を中心とした政治が確立されたことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子について考え表現している。 ②大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子を関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 聖徳太子の国づくり				
・つかむ　聖徳太子が行った政治について整理し，学習問題をつくりましょう。 p.24～25	1	①国を統一した隋の様子を調べたり，聖徳太子が遣隋使を派遣した目的について話し合ったりする。 ・隋は，皇帝を中心とした政治が整い文化が栄えていた。 ・聖徳太子は，小野妹子らを隋に送り，隋の進んだ制度や文化，学問を取り入れ新しい国づくりに生かそうとした。 ②聖徳太子が行った政治について調べ，学習問題をつくる。 ・冠位十二階を定め，家柄に関係なく能力や功績で役人を取り立てた。 ・十七条の憲法を定め，政治を行う役人の心構えを示した。 ・豪族の力をおさえ，天皇中心の国づくりをめざした。 ・法隆寺などを建てて	◆日本と隋の国土の広さの比較からも隋の大国ぶりをとらえさせる。 ◆当時の航海技術が未熟だったことを解説し，隋に渡ることが大変だったことを想像させる。 ◆聖徳太子のめざした政治は，太子の死後どうなっていくのかと問いかけ，学習問題につなげる。	

		仏教の教えを人々に広めようとした。		
		学習問題　聖徳太子がめざした天皇中心の国づくりは，だれが，どのように受けついでいったのでしょうか。		
		③中大兄皇子や聖武天皇の働きを調べる学習計画を立てる。	◆太子の死後の主なできごとの年表をもとに，今後の学習の見通しもち，学習計画を立てるようにする。	
(2) 大化の改新と天皇の力の広がり				
・調べる　聖徳太子の死後，だれが，どのような国づくりを進めたのでしょうか。 p.26～27	1	①中大兄皇子と中臣鎌足らが行った政治について調べる。 ・蘇我氏をたおし，大化の改新を進めた。 ・都から全国へ支配を進めていく仕組みを整備した。 ・初めて年号を定めたり，天皇が時間を管理したりした。 ・豪族が支配していた土地や人々は国のものになり，豪族は貴族として政治に参加した。 ・地方の豪族も役人となってそれぞれの地方を治めた。 ・中国にならって最初の本格的な都である藤原京を飛鳥につくった。	◆大化の改新で行われた一つ一つの政治の改革が何をねらったものなのか考えさせ，それらがすべて天皇の力を強めていくためのものであることがとらえられるようにする。	
		②律令や都から運ばれてきた各地の主な産物について調べ，中国の政治の日本への影響を話し合う。 ・人々は，租・調・庸といった税を納め，役を務めた。 ・都に日本各地から多くの産物が運ばれ，それらを管理するのに木簡が使われた。 ・中国の政治を取り入れ，天皇の力が強くなった。	◆都に運ばれてきた各地の産物の地図資料から天皇の力の広がりについて考えるようにする。 ◆中国の政治の仕組みを取り入れたことにより我が国にどのような影響があったのか考えるようにする。	

		中大兄皇子と中臣鎌足は，勢力を強めた蘇我氏を倒し，天皇を中心とする国づくりを進めた。国を治めるための法律もでき，都には日本各地から多くの産物が運ばれ，天皇を中心とする国づくりを支えた。		
(3) 仏教の力で国を治める				
・**調べる**　聖武天皇は，どのようにして世の中を治めようとしたのでしょうか。 p.28～29	1	①当時の平城京の様子や地方の人々のくらしの様子について調べる。 ・平城京は中国風の都で，東西南北にのびる道路で碁盤のように区切られていた。 ・天皇や貴族，下級役人などがくらし，にぎわいを見せていた。 ・地方の人々の生活は厳しく，重い税の負担に耐えかねて逃げ出すものもいた。 ②聖武天皇のころの主なできごとや天皇が行った政治について調べる。 ・病気によって多くの人々がなくなり，全国各地で災害や反乱が起こるなど社会全体に不安が広がっていた。 ・仏教の力で社会の不安をしずめようと，国ごとに国分寺を建てることを命じた。 都では病気が流行し，都を支える地方でも人々のくらしは厳しく，なかなか政治が安定しなかった。聖武天皇は，仏教の力で社会の不安をしずめ，国を治めようとして，国分寺をつくらせた。	◆資料から平城京の様子を読み取るとともに，地方の人々の厳しいくらしと比較し，多角的に当時の人々の様子をとらえるようにする。 ◆聖武天皇の年表から，天皇が行ったことを読み取り，当時のできごとと行ったことの関係を考えるようにする。 ◆国分寺の復元模型や分布図から，全国に立派な国分寺を建立した聖武天皇の力の大きさや力の広がりを考える。	
(4) 大仏をつくる				
・**調べる**　聖武天皇の大仏づくりは，どのように進められたのでしょうか。 p.30～31	1	①大仏の大きさや，大仏造営への聖武天皇の願いについて話し合う。 ・巨大な大仏をつく	◆実際に，大仏の一部分（手のひらの大きさなど）を新聞紙などに写してみる	

		り，仏の力で人々を救おうとした。 ・多くの人の協力で大仏をつくろうとした。 ②どのように大仏がつくられたのか調べる。 ・行基が大仏づくりに協力した。 ・すぐれた技術をもつ渡来人も活躍した。 ・聖武天皇の命令で，全国からばく大な物資が集められた。 ・のべ260万人以上の人々が何年も働き，大仏が完成した。 ・開眼式には，天皇や貴族，僧など1万人以上の人々が国の平安を祈った。 大仏をつくり，仏教の力で国を安定させようと，全国から人や物資が集められた。聖武天皇の詔の後，行基が弟子とともに大仏づくりに協力し，すぐれた技術をもつ渡来人の指導と多くの人たちの力で大仏が完成した。	と大仏の大きさが実感できる。 ◆大仏づくりには，農民や渡来人，行基などが協力したことから，海外とのつながりやさまざまな人々が大仏づくりを支えたことをとらえさせたい。 ◆全国から集められた人の数や材料の分量や分布から，当時の天皇の力の大きさを考えさせたい。	
(5) 大陸の文化を学ぶ				
・調べる　奈良に都があったころ，日本は，大陸からどのようなことを学んだのでしょうか。 **p.32～33**	1	①遣唐使は，どのようなものを日本にもたらしたのか調べる。 ・聖武天皇は唐から皇帝中心の政治の仕組みや大陸文化を学ぼうと遣唐使を唐に送った。 ・航海技術が発達していないために船が難破することも多く，唐に渡るのは危険な旅だったが，遣唐使は危険を乗りこえ唐に渡り，多くの大陸文化や文物を日本にもたらした。 ・その一部は東大寺にある正倉院の宝物として保管された。 ②聖武天皇が唐から招いた鑑真の活躍について調べる。 ・何回も失敗しながら来日を果たし，唐招	◆危険を乗りこえ命がけで唐に渡った遣唐使や聖武天皇の思いを考えるようにする。 ◆p.32「世界と日本をつなぐ交通路」の地図資料から，当時の大陸と日本のつながりを考えるようにする。	

		提寺を建立し日本で仏教を発展させた。 ③この頃日本は大陸との交流により，どのようなことを学んだのか話し合う。 ・中国の皇帝を中心とした政治の仕組み ・大陸の影響を受けた文化や仏教　など 聖武天皇は，中国へ使者や留学生を送って大陸の政治の仕組みや文化を学ばせる一方，日本に正式な仏教を広めるために鑑真を招いた。このころ我が国には，大陸風の文化が伝わってきた。	◆大陸とのつながり，仏教の影響，遣唐使の活躍などから，奈良に都があったころの文化の特色を多角的に考えるようにする。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(6) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを表に整理し，最後に人物のせりふを書きましょう。 p.34	1	①これまでに調べたことを発表して，この時代の人物が，新しい国づくりのためにどのようなことを行ったのか，表に整理する。 ・「中大兄皇子，中臣鎌足，唐から帰国した留学生や留学僧」「聖武天皇」「行基」「鑑真」の四つの人物の観点で整理 ②整理したことをもとに，それぞれの立場の人物になったつもりで，天皇中心の世の中について説明する。 （例）・聖武天皇…わたしは，多くの人々の協力を得ながら，天皇である自分の力を使って全国に国分寺を建てたり大仏をつくったりして仏教の力で世の中を平和にしようとしました。 聖徳太子の国づくりは，中大兄皇子や中臣鎌足によって受け継がれ，聖武天皇のころには，仏教を取り入れた天皇を中心とした政治の仕組みが確立された。	◆さまざまな人物の立場に立って，新しい国づくりのために取り組んだことを考えることにより，天皇中心の国づくりについて，さまざまな立場から多角的に考えることができるようにする。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，この時代に活躍した人物がどのようなことを行ったか，教科書p. 34を参考にしながら整理するとともに，p. 34②の吹き出しに，天皇中心の国づくりへのそれぞれの思いについて考えながら記入する。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	3. 貴族のくらし			教科書のページ	歴史編 p.36～41
配当時数	3時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ウ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，文化財や年表，その他の資料で調べ，この頃の文化の特色を考え，表現することを通して，貴族の生活や文化を手掛かりに，日本風の文化が生まれたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・貴族の生活や文化などについて，文化財や年表，その他の資料で調べ，日本風の文化が生まれたことを理解している。
	思考・判断・表現	・世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，貴族のくらしやこの頃の文化の特色を考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に学習問題を追究・解決し，学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 貴族と藤原道長				
・つかむ　藤原道長ら，貴族がどのようなくらしをしていたのか話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.36～37	1	①藤原道長が詠んだ歌の意味を考え，話し合う。 ・この世はすべて自分の思い通りにできる。 ・娘を天皇のきさきにし，強い権力を手に入れた。 ・このころ貴族は大きな力をもっていた。 ②貴族は，どんなくらしをしていたのかを調べ，わかったことや疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。 ・広く優雅な寝殿造のやしきでくらす。 ・広い庭や池もあり，そこで貴族が遊びを楽しんでいる。 ・蹴鞠をしている。 ・食事も庶民とちがう。 ・はなやかな文化が栄えたみたいだ。 学習問題　貴族が栄えていたころ，どのような文化が生まれたのでしょうか。	◆貴族が栄えていたことを歌から読み取らせる。 ◆寝殿造の屋敷の想像図から，当時の貴族のくらしの様子を細かく読み取らせる。 ◆貴族たちが華やかなくらしをしていたことに気づかせ，そのようなくらしの中からどんな文化が生まれたのか問いかける。	

(2) 貴族のくらしの中から生まれた文化				★他教科との関連：国語
・**調べる**　藤原氏が栄えていたころ，どのような文化が生まれたのでしょうか。 p.38～39	1	①貴族のくらしの中から生まれてきた文化について，資料から調べる。 ・このころつくられた大和絵には，貴族のくらしの様子が描かれている。 ・男性は束帯，女性は十二単などの服装 ・琴，琵琶，笛などをたしなみ，囲碁や双六で遊び，男子は，蹴鞠や乗馬も行う。 ・漢字からかな文字がつくられ，「源氏物語」など世界的な文学が生まれた。 ・小倉百人一首には，平安時代の女性の歌がたくさん含まれている。 ・中国の影響を受けながら，貴族のくらしの中から美しく華やかな日本風の文化が生まれた。 貴族たちのくらしの中から大和絵や十二単などの服装が生み出されたり，かな文字がつくられて，物語，随筆など多くの文学作品が書かれたりするなど，華やかな日本風の文化が生まれた。	◆漢字からかな文字がつくられたことにより，自分の気持ちなどが細かく表現できるようになったことに気づかせる。 ◆日本風の文化とともに，源氏物語が外国でも親しまれていることからも，貴族のくらしの中から生まれた文化の特色を多角的に考えさせる。	
(3) 今に伝わる年中行事				
・**調べる**　貴族が栄えていたころの年中行事で，今に伝えられているものには，どのようなものがあるでしょうか。 p.40	1/2	①貴族の年中行事で，今に伝えられ行われているものについて資料から調べる。 ・京都で行われている賀茂祭（葵祭）は，今から1200年前から始まり，今でも平安時代のいでたちの人々が行列をつくって市内を歩く。 ・曲水の宴は，貴族の遊びだったが，今でも伝えられている。 ・お正月の行事や端午の節句，七夕などの行事も貴族の年中行事が今に伝わっているもの。	◆「平安時代の主な年中行事」で，今も行われているものに印を付けさせ，今も伝えられているものが多いことに気づかせる。 ◆貴族の文化と自分たちの生活の関わりについて考えるようにする。	

		・貴族の文化は，今でもわたしたちのくらしの中に生きている。 平安時代の貴族の年中行事の中には，現在も続いているものがある。		**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(3) キャッチコピーにまとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことについて話し合い，平安時代の文化の特色を表すキャッチコピーを書きましょう。 p.41	1/2	①平安時代には，どのような文化が生まれてきたのか調べたことをもとに話し合う。 ・貴族のくらしの中からはなやかな文化が生まれた。 ・中国文化の影響を受けながら，日本独自の文化が生まれた。 ・貴族のくらしの中から生まれた文学は，日本だけでなく世界の人たちにも親しまれている。 ・貴族たちの年中行事の中には今も受けつがれているものがあり，かな文字や着物は今も使われている。 ②平安時代の文化の特色をキャッチコピーに表現する。 ・世界の人たちにも親しまれている平安時代の文学作品 ・今につながる日本風の文化 京都に都が置かれたころ，貴族のくらしの中から日本風の文化が生まれた。	◆平安時代の文化の特色を，時期や時間の経過という見方，位置や空間という見方，外国との関係，際だった特徴などといった視点で考えまとめるようにする。 ◆なぜそのキャッチコピーにしたのか理由も説明するようにする。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，平安時代にどのような文化が生まれたかをノートに整理し，平安時代の文化の特色を表すキャッチコピーを考える。 【1/2 時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	4. 武士の世の中へ			教科書のページ	歴史編 p.44～54
配当時数	6時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(エ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きなどに着目して，地図や年表などの資料で調べ，この頃の世の中の様子を考え，表現することを通して，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを手掛かりに，武士による政治が始まったことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きなどについて，地図や年表などの資料で調べ，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，武士による政治が始まったことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きなどに着目して，問いを見出し，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いについて考え表現している。 ②源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを関連付けたり総合したりして，この頃の世の中の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 武士の登場と武士のくらし				
・**つかむ**　武士とは，どのような人々で，どのような願いをもっていたのかについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.44～45	1	①「武士のやかたの様子（想像図）」をもとに，武士の生活の様子，武士と貴族のちがいなどについて考え，話し合う。 ・地方の武士は，自分の領地が見渡せる場所にやかたを建てて住んでいた。 ・一族や家来たちも近くに住んでいた。 ・武器の手入れや武芸の訓練，馬の世話などを行い，常に戦いに備えていた。 **学習問題**　武士の登場によって，世の中はどのように変わり，武士は，どのような政治を行っていったのでしょうか。	◆イラストは想像図であることに留意しつつ，武士のイメージをふくらませることができるように指導する。	
(2) 武士の政治の始まり				
・**調べる**　武士は，どのようにして勢力をのばしていったのでしょうか。 p.46～47	1	①平清盛の活躍について年表にまとめて調べ，武士の政治の始まりと平氏の政治の特色について考える。 ・武士のなかには武芸を認められて朝廷や貴族に仕え，大きな力をつけていく者が	◆貴族の藤原氏が行った政治と武士の平氏が行った政治の共通点と相違点について考えさせる。	

		現れた。 ・平清盛は，むすめを天皇のきさきとして生まれた子を天皇に立てるなど，朝廷の中で重い役を独占して強い力をもつようになった。 武士団の中で力の強かった平氏と源氏が戦った結果，平清盛を中心とした平氏が政治の実権を握り，政治を思うがままに動かすようになったが，しだいに貴族やほかの武士たちの間で不満が高まっていった。		
(3) 源氏と平氏が戦う				
・**調べる**　源平の戦いで，源氏は平氏をどのように破ったのでしょうか。 p.48～49	1	①源義経の活躍について図書館などで伝記を探すなどして調べ，鎌倉に幕府が開かれるまでの経緯をまとめる。 ・源頼朝が平氏をたおそうと兵を挙げると，自分たちの領地を認めてくれる新しいかしらを求めていた武士が次々に集まった。 ・源義経に率いられた軍が，一ノ谷，屋島で平氏を破り，壇ノ浦で平氏を滅ぼした。 平氏打倒の兵を挙げた源頼朝のもとに武士たちが集まり，源義経らに率いられた源氏の軍が平氏を滅ぼした。源頼朝は征夷大将軍になり，鎌倉幕府を開いた。	◆源義経の活躍と多くの武士が源頼朝に従うようになった理由とを関連付けて調べ，次時へと疑問がつながるようにする。	
(4) 頼朝が東国を治める				
・**調べる**　頼朝は，どのようにして武士たちを従えていったのでしょうか。 p.50～51	1	①鎌倉の地図やご恩と奉公の関係図，政子のうったえなどをもとにして，源頼朝が武士たちをどのように従えていったのかを考える。 ・源頼朝はご恩と奉公の主従関係で武士を従えた。 ・承久の乱の後，鎌倉幕府の力は西国にま	◆源頼朝と武士の主従関係については，ご恩と奉公という言葉だけではなく，守護・地頭に任命することや領地の所有と関連させて考えさせる。	

		で及ぶようになり，執権の北条氏を中心とした幕府は法律や裁判の制度を整えて支配力を強めていった。 源頼朝は，ご恩と奉公の主従関係で武士を従えた。承久の乱の後，執権の北条氏を中心とした鎌倉幕府の力は西国にまで及ぶようになった。		
(5) 元の大軍がせめてくる				
・調べる　鎌倉幕府は，どのようにして元軍と戦い，その後は，どうなっていったのでしょうか。 p.52～53	1	①元の大軍との戦いの様子を絵図や写真などをもとに調べ，この戦いが鎌倉幕府にどのような影響をおよぼし，幕府の力がどのように弱まっていったのかを考える。 ・元は日本に服従を求めてきたが，執権の北条時宗はその要求を退けた。 ・武士たちは，元軍の集団戦法や火薬兵器（てつはう）などに苦しみながら，恩賞を得るために一所懸命に戦った。 元軍の襲来に対して，各地から集められた武士は一所懸命に戦ったが，幕府から新しい領地をあたえられなかったので，幕府と武士の主従関係がくずれていった。	◆元との戦いにおける武士たちの活躍については，ご恩と奉公の主従関係と関連させて考えさせる。 ◆元との戦いについては，北条時宗が各地の武士を動員して元の攻撃を退けたことなどによって，幕府の力が全国におよぶようになったことに気づかせる。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(6) まとめる				
・まとめる　学習問題について調べてきたことを整理し，自分の考えを４コマまんがで表しましょう。 p.54	1	①武士の発生から元寇までの世の中について，いくつかの視点で整理する。 ・天皇や貴族のくらしと武士のくらしのちがいはどのようなことか。 ・平氏の政治と源氏の政治のちがいはどのようなことか。 ②関係する人物のせりふを考え，４コマまんがを完成させる。 ・元寇の竹崎季長の各場面のせりふを考え	◆調べたことを整理する際には，基礎的・基本的知識の習得に留意する。 ◆人物のせりふを考え合う際には，個性豊かな発想を表現できるように指導するとともに，児童が相互に考えを尊重し合うことができるように配慮する。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，教科書p.54①(１)(２)の視点で調べてきたことを整理するとともに，p.54②のせりふを考え，４コマまんがを完成させる。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，学**

		て，お互いに発表し合う。 ・他の人物についても場面を設定してせりふを考え，お互いに発表し合う。 平清盛，源頼朝，源義経らの働きによって武士による政治が始まり，源頼朝がご恩と奉公という主従関係によって武士を統率した。		習状況を確認する。

小単元名	5. 今に伝わる室町文化			教科書のページ	歴史編 p.56～61
配当時数	3時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1/2 時間)	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(2)ア-(オ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，文化財や地図，年表などの資料で調べ，この頃の文化の特色を考え，表現することを通して，京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに，今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習してきたことを基に我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	・京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画について，文化財や地図，年表などの資料で調べ，今日の生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解している。
	思考・判断・表現	・人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画や，この頃の文化の特色を考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に学習問題を追究・解決し，学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 足利義政が建てた銀閣				
・**つかむ**　銀閣の様子を見たり，金閣と比べたりしながら話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.56～57	1	①金閣と銀閣の写真を比較し，資料をもとに調べる。 ・金閣は，足利義満が建てて，はなやか。 ・銀閣は，足利義政が建てて，とても落ち着いた印象で，金閣と全く違う。 ②「書院造の部屋」や年表をもとに，わかったことや疑問をもとに話し合い，学習問題をつくる。 ・障子やふすまがあって，現在の和室に似ている。 ・書院造は，現在の和室とつながりがあるのかもしれない。 ・室町時代に，茶の湯や生け花などが流行している。 **学習問題**　室町時代の文化は，どのようなものだったのでしょうか。	◆地図や年表を用いて，いつ，どこで建てられたのかも確認をする。 ◆書院造と現在の和室を比較させることで，現在とのつながりに気づかせる。 ◆室町時代の他の文化にも関心をもたせ，学習問題につなげる。	
(2) 新しい文化が生まれる				
・**調べる**　室町時代の文化には，どのような特色があるのでしょうか。	1	①雪舟の「天橋立図」を見て，気づいたことを話し合い，雪舟	◆墨で自然を表現する技法や，描かれている風景	

p.58～59		や水墨画について調べる。 ・墨の濃淡がとても素晴らしい。 ・中国から伝えられたすみ絵を芸術として大成させた。 ・日本の自然の美しさを求めて描き，作品には国宝もある。 ②室町時代に生まれた，茶の湯や生け花について調べる。 ・お茶を飲む習慣が広まり，茶室もつくられるようになった。 ・書院造の床の間を飾る生け花も盛んになった。 ・今では，外国人も親しんでいる。 ・庭園づくりも盛んになった。 室町時代には，雪舟が水墨画を大成し，茶の湯や書院造の床の間を飾る生け花などの文化が生まれ，それらは今も多くの人に親しまれている。	などに着目させる。 ◆茶の湯や生け花が，書院造とつながっていることに着目させる。 ◆水墨画，茶の湯，生け花が現在も親しまれていることに気づかせる。	
(3) 室町文化と現在のつながり				
・**調べる**　室町時代に生まれた文化には，ほかにどのようなものがあるのでしょうか。 p.60	1/2	①室町時代に生まれた，祭り，能や狂言について調べる。 ・民衆の力が高まり，祭りや盆おどりが各地で行われるようになった。 ・能は，観阿弥や世阿弥が大成した。 ・狂言は，民衆の生活などを題材に，多くの人が楽しんだ。 ②室町時代に民衆に広まった習慣を調べる。 ・１日３回食事をする習慣が起こった。 ・しょうゆや砂糖も使われるようになった。 民衆の間では祭りや盆踊りが盛んに行われるようになり，日本の伝統芸能である能や狂言も生まれ，庶民に親しまれるようになっていった。生活面でも，現在につながる習慣が生まれた。	◆能や狂言が，民衆と深いつながりがあることに着目させる。 ◆現在の人々の生活や習慣との共通点に着目させる。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①について説明をする。**

(3) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを整理し，「ことば」を使って室町時代の文化のしょうかい文を書きましょう。 p.61	1/2	①これまでに調べたことを発表し，「ことば」を使って，室町時代の文化の紹介文を書く。 ・現在でも，茶の湯や生け花は日本人だけでなく外国人にも親しまれている。 ・室町時代の書院造は，現在の和室に受け継がれている。 ・雪舟のすみ絵の作品は，現在も多くの人に感動をあたえている。 京都の室町に幕府が置かれたころ，今日の生活文化につながる室町文化が生まれ，武士や貴族から民衆に広まり，今日も多くの人に親しまれている。	◆今まで調べたことを整理する中で，それぞれの文化と現在とのつながりに目を向けながら，自分の考えを書かせる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，調べてきたことを整理して，室町時代の文化の紹介文をノートに書く。【1/2時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	6. 戦国の世から天下統一へ			教科書のページ	歴史編 p.64～75
配当時数	6時間 （そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし）	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(カ)(シ)，イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，地図や年表，その他の資料で調べ，戦国の世の統一に果たした織田信長，豊臣秀吉の役割を考え，表現することを通して，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を手掛かりに，戦国の世が統一されたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，地図や年表，その他の資料で調べ，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，戦国の世が統一されたことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きや文化遺産などに着目して，問いを見出し，キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一について考え表現している。 ②キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして，戦国の世の統一に果たした織田信長，豊臣秀吉の役割を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 戦国大名の登場				
・**つかむ**　長篠の戦いがあったころの世の中の様子について話し合いましょう。 p.64～65	1	①資料[1]「長篠の戦い」を見てわかったことや感じたことを発表する。 ・織田信長や豊臣秀吉などの有名な武将がいる。 ・川をはさんで，織田・徳川の連合軍と武田軍が戦っている。 ・左の織田・徳川の連合軍は馬を防ぐ柵をつくって鉄砲で戦い，右の武田軍は騎馬隊で戦っている。 ・織田信長が鉄砲に目をつけて，長篠の戦いで使ったのがすごい。 ②このころの世の中がどのような様子だったのかを資料[3]「1570年ごろの主な戦国大名」を見て話し合う。	◆長篠の戦いの様子を丁寧に読み取らせる。右上にある徳川方の長篠城を武田勝頼が攻め，それを助けに来た織田・徳川連合軍との間で起きた戦いであることを補説する。 ◆信長や秀吉の位置を確認するとともに，どのような戦い方の工夫があったのか，鉄砲を使うことで戦いにどのような変化が起きたのか，大量の鉄砲をどのように手に入れたのかなどを問いかけ，信長の戦い方に関心をもたせる。	

		・日本各地に，戦国大名と呼ばれる力をもった武将がいた。 ・お互いの力を広げるための戦国大名の戦いが，全国各地で100年ほど続いた。 ・鉄砲を使った織田信長はかなり強かったのではないか。 室町幕府が衰えると，戦国大名が各地で戦いを続ける戦国の世となり，特に鉄砲を使って長篠の戦いに勝利した織田信長が力を発揮するようになった。		
(2) 天下統一を進めた二人の武将				
・つかむ　年表や資料を見ながら話し合って学習問題をつくり，学習計画を立てましょう。 **p.66〜67**	1	①年表や資料1，2を参考にして，この時代の様子や疑問に思ったことを話し合う。 ・織田信長は，家来の豊臣秀吉や徳川家康と力を合わせて天下統一をめざしたのではないか。 ・天下統一のためには，戦いだけでなく，もっと他のことも行ったのではないか。 ・鉄砲が外国から入ってきたように，天下統一のためには，外国との関わりも関係があるのではないか。 ②出された疑問をもとに学習問題をつくる。	◆年表を見て，天下統一に関係のありそうなことがらをマークさせ，似ている点や違う点を比べながらこの時代の様子をとらえさせ，感じた疑問等を出させる。 ◆児童から出された疑問をもとに二人の武将がどのように戦国の世をおさめたのかを追究する学習問題につなげる。	
		学習問題　織田信長，豊臣秀吉は，どのようにして戦国の世をおさめていったのでしょうか。		
		③学習問題に対して予想を立て，予想を確かめるために調べることを決めて学習計画を立てる。 ・外国との関わりを調べる。 ・戦いの様子を調べる。 ・政治の様子を調べる。 ④調べ方やまとめ方についても話し合う。	◆年表中の社会の様子や，資料「天正の少年使節」に目を向けさせ，この時代の外国との関わりに着目させて学習計画を立てる。 ◆児童の関心の高い人物なのでまとめ方も知らせて学習意欲を高	

		・教科書，資料集 ・図書館等の本 ・インターネットでの情報収集 ・VTR ・信長と秀吉について調べ，わかったことをもとにテーマを決めて話し合う。（ミニパネルディスカッション）	める。	
(3) ヨーロッパ人の来航				
・調べる　戦国の世，日本と外国にはどのようなかかわりがあったのでしょうか。 **p.68～69**	1	①この時代の日本が，外国とどのように関わっていたのかを資料1，3の地図を見て調べる。 ・ポルトガルやスペインが世界のさまざまなところに出かけていて日本にもやってきた。 ・鉄砲のように，このころヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってくるようになった。 ・ザビエルが九州に来て，そこから西日本を通って京都までやってきた。 ②ヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきて日本にはどのような影響があったのかを資料5や資料6のグラフを見て調べる。 ・鉄砲は戦い方を大きく変えた。 ・外国の品物が入ってきたことで栄えてきた町がある。 ・キリスト教を信じる人が年々増えていった。 ザビエルによってキリスト教が伝えられたり，南蛮貿易でヨーロッパの進んだ文化や品物が入ってきたりするなど，外国との関わりが日本にさまざまな影響をあたえた。	◆この時代の世界の様子や，キリスト教がどのように伝わってきたのかを，地図を活用して「位置や空間的な広がり」の視点でとらえさせる。 ◆この時代に伝わった南蛮文化を「時期や時間の経過」の視点でとらえさせるために，今でも日本語として使われている言葉があることを資料で確認する。	
(4) 安土城と織田信長				
・調べる　織田信長は，天下統一をするために，どのようなことを行ったのでしょ	1	①織田信長が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，戦いの様子を調	◆織田信長の業績については，p. 66の年表や資料2からわかる	

うか。 p.70～71		べる。 ・鉄砲を使うなど，戦い方を工夫した。 ・堺などの商業都市をおさえて豊富な資金を手に入れ，それで武器を買った。 ・鉄砲などの武器を使って，少しずつ勢力を広げ，室町幕府も滅ぼした。 ②織田信長が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，政治の様子を調べる。 ・自らの力を示すために安土城を築いた。 ・強い力をもっていた仏教勢力をおさえた。 ・キリスト教を保護した。 ・誰でも商売ができるようにして（楽市・楽座），商業や工業を盛んにした。 織田信長は，商業都市をおさえて資金を蓄え，鉄砲などの武器をそろえて有力な大名を倒して勢力を拡大した。そして，安土城を築いたり商業を盛んにしたりして天下統一を進めていった。	ことだけでなく，人物のエピソードからも考えさせるようにする。 ◆資料4「安土城の城下町（想像図）」や資料5「安土城の位置」から，「位置や空間的な広がり」の視点で安土城の意義を考えられるようにする。	
（5）大阪城と豊臣秀吉				
・**調べる**　豊臣秀吉は，天下統一をするために，どのようなことを行ったのでしょうか。 p.72～73	1	①豊臣秀吉が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，戦いの様子を調べる。 ・織田信長に仕えて有力な武将になった。 ・織田信長にそむいた明智光秀を倒した。 ・朝廷から関白に命じられ，全国の大名や仏教勢力をおさえて天下統一を成し遂げた。 ②豊臣秀吉が，天下統一に向けてどのようなことを行ったのか，政治の様子を調べる。 ・大阪城を築いて政治の拠点とした。 ・検地で確実に収入を得られるようにし	◆豊臣秀吉の業績については，p. 66の年表や資料1～6でわかることだけでなく，人物のエピソードからも考えさせるようにする。 ◆資料2「検地の様子」や資料5「秀吉が出した刀狩令」の言葉から，それらの政策が社会にどのような影響をあたえたのかを	

		た。 ・刀狩令で百姓が反抗できないようにした。 ・武士の世の中の仕組みが整えられた。 ・大陸の影響を受けた文化 豊臣秀吉は，全国の有力な大名を倒して大阪城を築き，検地と刀狩によって武士と百姓･町人の身分を区別し，武士が世の中を支配する仕組みをつくって天下を統一した。	考えるなど，天下統一に向けた秀吉の政治の意義を考えさせるようにする。 ◆天下統一後に行ったこととして，朝鮮に大軍を送り失敗したことをおさえるようにする。	
(6) まとめる				
・**まとめる**　天下統一を進めた二人の武将の働きについて，学習したことをもとに話し合いましょう。 p.74～75	1	①学習問題をふり返る。 ②二人の武将が行ったことをグループで表に整理し，「天下統一に向けての働きがより大きかったのは信長か秀吉か」をテーマに，自分の考えをノートに書く。 ③役割を決めてミニパネルディスカッションをする。 ・信長の働きが大きかったと考える児童２名 ・秀吉の働きが大きかったと考える児童２名 ・司会１名 ・４人のパネラーがテーマについての自分の考えを述べる。 ・パネラーどうしで質問や意見を述べ合う。 ・パネラーの話を聞いていた人たちからパネラーへ質問や意見を述べ，それぞれの考えを伝え合う。 ④ミニパネルディスカッションで出された意見を参考に，学習問題についてのまとめとして自分の考えを書く。 キリスト教の伝来などの外国との関わりや，織田信長，豊臣秀吉の天下統一に向けた働きによって，戦国の世が統一されていった。	◆学習問題を確認し，ノートをふり返りながら，「事象や二人の相互関係」に着目しやすくなるように，グループでワークシートに短時間で整理させる。 ◆ミニパネルディスカッションを行うことは第２時に知らせているので，調べる活動を進める過程で登場する５名の児童を授業前に選んでおく。 ◆自分の考えはその根拠と共に説明させる。 ◆ここでは，ミニパネルディスカッションを活性化させるためにテーマを設けている。小単元のまとめとしては，できるだけ多くの視点から二人の武将の働きを考え，天下統一に向けてそれぞれの果たした役割をまとめられるように教師が必要に応じて支援する。	**※対話的な活動を組んでいるため，まとめの時間であるが授業で行う。**

小単元名	7. 江戸幕府と政治の安定			教科書のページ	歴史編 p.76～86
配当時数	6時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(キ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，文化財や地図，年表などの資料で調べ，江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え，表現することを通して，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制を手掛かりに，武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，文化財や地図，年表などの資料で調べ，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，武士による政治が安定したことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制について考え表現している。 ②江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制を関連付けたり総合したりして，江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①江戸幕府の始まり，参勤交代や鎖国などの幕府の政策，身分制について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 徳川家康と江戸幕府				
・**つかむ**　江戸幕府が力を強め，政治を安定させたしくみについて話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.76～77	1	①徳川家康が，どのようにして江戸幕府を開いたのか調べる。 ・三河の小さな大名の子に生まれ，苦労を重ねたが，成長を重ねるとともに勢力を伸ばし，戦いにすぐれた強い武将として知られた。 ・秀吉の死後，多くの大名を味方につけて勢力を強め，関ヶ原の戦いで対立する大名を破り，全国支配を確かなものにした。 ・朝廷から征夷大将軍に任じられ，江戸に幕府を開いた。 ・豊臣氏を滅ぼすとともに一国一城令を出し，大名の居城以外の城の破壊を命じた。 ②江戸幕府が大名をどのように配置し，ど	◆「関ヶ原の戦い」の図から，戦いの激しさを読み取らせる。 ◆「主な大名の配置」の図から，親藩，譜代，外様といった大名が，江戸からみてどのように配置されているのか考えさせる。 ◆「主な大名の配置」の図から，江戸幕府が直接支配した場所がどのようなところか考えさせる。	

		のような場所を直接支配したのか調べ，話し合う。 ・外様大名がすぐに江戸を攻められないよう工夫して配置している。 ・主な鉱山や主要な都市は幕府が直接支配している。 **学習問題**　江戸幕府は，どのようにして力を強め，政治を安定させようとしたのでしょうか。 ③学習計画を立てる。		
(2) 将軍による支配の安定				
・**調べる**　徳川家康が開いた江戸幕府は，徳川家光にどのように受けつがれたのでしょうか。 p.78～79	1	①徳川家光が，どのようにして江戸幕府を受け継ぎ，権力を確立したか調べ，話し合う。 ・日光東照宮は家光の権力を大名たちに見せつけるうえで大きな役割を果たした。 ・家光は江戸城と江戸の町を大幅に改修し，天下にふさわしい城下町を作った。 ・家康から家光のころの間，武家諸法度に反したなどの理由で，全国の多くの大名が取りつぶされ，将軍の力はますます強くなった。 ・江戸幕府の仕組みは家光のころに確立し，安定した世の中をむかえた。 江戸幕府は武家諸法度によって大名を統制し，日光東照宮や江戸城を整備して権力を確立した。	◆日光東照宮と江戸城の資料から，将軍の権威の高さや江戸幕府の力の大きさを考えさせる。 ◆武家諸法度から，将軍が大名を統制するためにさまざまな取り決めを行ったことを読み取らせる。 ◆「取りつぶされた大名」のグラフから，３代将軍家光のころまでに多くの大名がとりつぶされたことを読み取らせる。 ◆「江戸幕府のしくみ」の図から，大名，朝廷などの勢力を取り締まる仕組みになっていることをとらえさせる。	
(3) 大名の取りしまりと参勤交代				
・**調べる**　幕府は，どのようにして多くの大名を従えていったのでしょうか。 p.80～81	1	①江戸幕府が全国の大名を従えるために，どのような仕組みを整えたかを調べ，話し合う。 ・家光が将軍のころ，参勤交代の制度が整えられた。大名は自分の城と領地を持っていたが，１年おきに江戸の屋敷に住まわされ，将軍に服従の態度を示した。妻	◆加賀藩の参勤交代図から，大名が大勢の家来を引き連れて領地と江戸を行き来したことをとらえさせる。 ◆全国の大名屋敷が江戸にあったことを理解させる。その際，p. 79の江戸城の図から，江戸城	

		子は江戸での生活を強制された。 ・将軍は参勤交代の制度を利用して，全国の大名を従えることができた。 ・大名にとって，江戸での生活は多くの費用がかかった。 ・大名は将軍に命じられ，さまざまな土木工事の費用や労力を負担した。 ・参勤交代のために，幕府が五街道などを整備した結果，旅人や飛脚の行き来が増え，江戸の文化が各地に広がるきっかけとなった。 江戸幕府は，参勤交代の制度を定めて全国の大名を交代で江戸の屋敷に住まわせ，服属させることで権力を安定させた。	のまわりに大名屋敷が集まっていたことに注目させる。 ◆「江戸時代の大名やしき」の写真から，江戸での生活費が大名にとって負担となったことを考えさせる。 ◆参勤交代の制度により，街道や宿場町が整備されたり，江戸の文化が各地に伝わったりしたことにもふれる。 ◆薩摩藩と木曽三川の治水に関する文章から，大名がさまざまな土木工事の費用や労力を負担したことを理解させる。	
(4) 人々のくらしと身分				
・調べる　江戸時代，人々は身分に応じて，どのようにくらしていたのでしょうか。 p.82～83	1	①江戸時代の人々が身分に応じてどのようにくらしていたのかを調べ，話し合う。 ・江戸時代の社会は，さまざまな身分の人々によって構成されていた。 ・武士や町人は城下町に集められ，身分によって住む場所が決められた。 ・江戸時代の人口の80％以上は，百姓でしめられていた。 ・百姓は農村や山村，漁村に住み，収穫の半分にもなる重い年貢を納めたり，いろいろな力仕事をさせられたりした。 ・百姓は名主を中心に，自分たちで村を運営した。 ・ほかにも皇族，公家，宗教者，芸能者など，さまざまな身分がみられた。また，厳しく差別された身分の人々もいた。	◆「さまざまな身分」の資料から，人々が身分に応じてさまざまな生活を営んでいたことを気づかせる。 ◆「城下町のなごり」の図から，城下町では身分に応じて住む場所が決められていたことに気づかせる。 ◆「百姓が負担するいろいろな税や役」の図から，百姓が幕府や藩にさまざまな負担を負わせていたことを理解させる。 ◆「こきばしから千歯こきへ」の資料から，百姓が江戸時代を通じて農具を改良し，農業生産力を高めていったことを理解させる。	

		江戸幕府は，全国の人々を武士や百姓，町人などの身分として位置付け，くらしにみあった負担をさせた。		
(5) キリスト教の禁止と鎖国				
・調べる　幕府は，どのようにしてキリスト教を禁止したのでしょうか。 p.84～85	1	①江戸幕府が，どのようにキリスト教を禁止していったのか調べて話し合う。 ・幕府は初めのころ，外国との貿易をさかんにしようとしていたが，キリスト教信者が増え，幕府の命令に従わなくなることを心配して，キリスト教を禁止するようになった。 ・幕府は島原・天草一揆を，大軍を送っておさえた後，絵踏みを取り入れ，キリスト教をいっそう厳しく取り締まるようになった。 ・幕府はキリスト教を徹底して排除するとともに，海外貿易の利益を独占した。 江戸幕府はキリスト教を厳しく取り締まり，貿易船の出入りを制限することによって，貿易を独占した。	◆鎖国までの歩みについて調べ，わかったことを「鎖国までの歩み」の年表に書き込ませる。 ◆鎖国の間も，さまざまな形で外国との交流が行われていたことに気づかせる。 ◆鎖国のもとでの交流が，長崎，琉球，蝦夷地，対馬で行われていたことを理解させる。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(6) まとめる				
・まとめる　学習問題について調べてきたことを整理し，最後に，当時の人々になったつもりでせりふをうめましょう。 p.86	1	①江戸幕府が政治を安定させるために，人々に対して行ったことを整理する。 [大名に対しての例] 日光東照宮や江戸城の建設を通じて幕府の力を見せつけながら，武家諸法度と参勤交代によって将軍に従わせた。 [百姓や町人などに対しての例] 身分に応じて異なる場所に住まわせたり，年貢や役などのさまざまな負担を負わせたりした。 [キリスト教の信者や外国の貿易船に対しての例]	◆今まで調べたことを整理するとともに，それぞれの政策により，幕府の力がより強くなったことをおさえさせ，表現させる。 ◆江戸幕府の政治について人々がどのように思ったかを考えることを通じて，立場によって江戸幕府の政治に対する思いが違っていたことに気づかせる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，江戸幕府が行った政治を整理して，当時の人々がどう思ったかについて，教科書の空欄やノートに書く。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

		キリスト教を厳しく禁止するとともに，貿易相手の国と貿易の場所を限り，幕府が貿易を独占した。 ②江戸幕府の政治について，人々がどう思ったかを考える。 ［外様大名の例］ １年おきに江戸に住んで将軍に従うのは大変だ。領地で妻や子どもと一緒にくらしたい。 ［百姓の例］ 年貢や役の負担が大変だ。農具や肥料を改良して，農業の技術を高めよう。 ［オランダの商人の例］ 自分たちはキリスト教を広めないから貿易をひとりじめできる。でも，長崎の出島での貿易はとてもきゅうくつだなあ。 徳川家康が開いた江戸幕府は，武家諸法度により大名を統制し，参勤交代の制度や外交のありかたをさだめて将軍権力を確立し，身分制に基づいて，武士による安定した政治を行うようになった。		

小単元名	8. 町人の文化と新しい学問			教科書のページ	歴史編 p.90～98
配当時数	5時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ク)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，文化財や年表，その他の資料で調べ，この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え，表現することを通して，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を手掛かりに，町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習してきたことを基に長い歴史を経て築かれてきた我が国の伝統や文化と今日の自分たちの生活との関わりを考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，文化財や年表，その他の資料で調べ，歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，この頃に栄えた町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①歌舞伎や浮世絵，国学や蘭学について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 江戸や大阪のまちと人々のくらし				
・**つかむ**　江戸や大阪のまちの様子やほかの資料をもとにして，当時の社会について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.90～91	1	①江戸や大阪のまちの様子について資料をもとに調べ，話し合う。 ・江戸の両国橋付近は，橋の上，広場，川のどこも花火見物の人であふれかえり，とてもにぎやかだ。 ・大阪のまちは，経済の中心地として栄え，多くの物が江戸に運ばれた。 ・社会が安定するにつれて，武士以外にも学問や文化に親しむ人々が現れるようになった。 ・両国橋や芝居小屋にたくさんの人が集まっている。 ・浮世絵について，描き方や誰が買ったかが気になる。 ・蘭学や国学といった学問で活躍した杉田	◆江戸の両国橋付近の様子や大阪を出る船の様子を描いた資料から，平和が続いて商業がさかんになり，江戸や大阪が栄えたことをとらえさせる。 ◆「芝居小屋の様子」の資料から，多くの人々が芝居に興味をもっていたことに気づかせる。 ◆歌舞伎役者や葛飾北斎の浮世絵を見せて，当時の浮世絵が多色刷りで美しく，高度な技術に基づいて描かれたことに気づかせる。 ◆このころ栄えた文化はそれまで	

		玄白や本居宣長はどんなことをしたのだろう。 **学習問題**　江戸時代の後半には，どのような新しい文化や学問が生まれ，社会にどのように広がったのでしょうか。 ②学習計画を立てる。	の文化とはどう違うのか，蘭学や国学はどんな学問なのかなどの疑問を投げかける。	
(2) 人々が歌舞伎や浮世絵を楽しむ				
・**調べる**　歌舞伎や浮世絵は，人々の間で，どのように親しまれていったのでしょうか。 p.92～93	1	①近松門左衛門について調べ，歌舞伎が人々にどのように親しまれていったのか話し合う。 ・芝居見物は人々の大きな楽しみだった。 ・近松の作品は町人のいきいきとした姿や義理人情を描いた。 ・近松の作品は，現在でもさまざまな舞台で上演されている。 ②歌川広重について調べ，浮世絵が人々にどのように親しまれたのか話し合う。 ・浮世絵は版画として大量に刷られ，多くの人々が買い求めた。 ・「東海道五十三次」は，江戸からふるさとへのみやげとしても買い求められた。 ・19世紀後半には，浮世絵は海外でも鑑賞されるようになった。 人々は歌舞伎や人形浄瑠璃，浮世絵に親しみ，近松門左衛門や歌川広重のようなすぐれた作者が登場した。	◆「歌舞伎を楽しむ人々」の資料から，芝居小屋に多くの観客が詰めかけ，楽しんでいる様子を読み取らせる。 ◆「人形浄瑠璃」の写真から，芝居が現在でも上演されていることを理解させる。 ◆「歌舞伎の広がり」の解説から，歌舞伎が地方にさまざまな形で広まり，今でも上演されている地方があることに気づかせる。 ◆「浮世絵ができるまで」の資料から，浮世絵の制作に多くの人の手が加わっていることを気づかせる。 ◆「マネもゴッホも」の解説から，浮世絵が日本だけでなく，海外でも親しまれている文化であることに気づかせる。	
(3) 新しい学問・蘭学				
・**調べる**　蘭学は，どのような学問で，社会にどのようなえいきょうをあたえたのでしょうか。 p.94～95	1	①二つの解剖図を比べたり，医学書を翻訳する際の苦労について調べたりする。 ・「解体新書」の図の方が正確である。 ・満足な辞典がないため，翻訳には大変苦労した。 ②江戸時代初期につく	◆杉田玄白らは人体の解剖に立ち会った際，オランダ語の解剖書の正確さに驚き，なんとしてもこれを翻訳しようと決意したことに気づかせる。	

		られた日本地図と伊能忠敬の日本地図を比べたり，忠敬の測量法を調べたりする。 ・忠敬の地図は，現代の日本地図とほとんど変わらず正確である。 ・忠敬は新しい天文学や測量術を学び，全国を測量した。 ③蘭学が人々の考え方にあたえた影響について調べ話し合う。 ・医学のほかにもヨーロッパの地理学や天文学などを役立てようとする人々が現れた。 江戸時代の後半になると，杉田玄白や伊能忠敬といった優れた学者が活躍し，医学や測量学などの蘭学が生まれ，多くの人々の間に広がった。	◆伊能忠敬の日本地図と現在の日本地図を比較させ，どうしてこのような精密な地図をつくることができたのかを考えさせる。 ◆「測量で使用した道具」の資料と「測量の様子」の資料から，当時の測量がどのように行われたかを考えさせる。 ◆蘭学を学んだ人々が，どうして世界に目を向けて，政治や社会がこのままではいけないと考えるようになったのかを考えさせる。	
(4) 国学の発展と新しい時代への動き				
・調べる　国学は，どのような学問なのでしょうか。また，新しい時代への動きは，どのようなものだったのでしょうか。 **p.96～97**	1	①国学と本居宣長について調べ話し合う。 ・国学とは，仏教や儒教などが中国から伝わる前の日本人がもっていた考え方を研究する学問である。 ・本居宣長は「古事記」を研究し，「古事記伝」を完成させた。 ・国学は江戸時代の後半，地方に広まり，社会に大きな影響をあたえた。 ②江戸時代後半の新しい動きについて調べる。 ・ききんや物価の上昇によって，百姓一揆や打ちこわしが全国各地で起きた。 ・新しい学問を学ぶ人や武士の中からも，幕府や藩を批判する人が現れた。	◆「宣長が藩主に出した意見書」から，宣長が同時代の社会や政治のあり方にも関心を持っていたことを理解させる。 ◆国学は幕末までに地方の人々の間に広まっていったことを理解させる。 ◆「江戸時代の寺子屋と日本人の識字率」から，江戸時代の日本には多くの寺子屋ができ，人々の識字率が高かったことを理解させる。 ◆百姓一揆や打ちこわしが起こった原因が，ききんや物価の上昇によるものであったことを理解させる。	

		江戸時代の後半，本居宣長のような優れた学者が現れ，日本古来の思想を学ぼうとする国学が生まれ，多くの人々の間に広がった。 このころききんなどで社会が不安定となり，百姓一揆や打ちこわしが各地で発生した。		**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(5) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを整理し，キャッチフレーズをつくって発表しましょう。 p.98	1	①近松門左衛門，杉田玄白，本居宣長がどのようなことをしたかをまとめ，説明する。 [近松門左衛門の例] 歴史上の物語や実際に起きた事件を題材にして，歌舞伎や人形浄瑠璃の脚本を約150編書いた。 [杉田玄白の例] 人体の解剖を見学して，オランダ語の解剖図が正確に描かれていることに驚き，苦労して翻訳し，「解体新書」と名づけて出版した。 [本居宣長の例] 古い時代の日本人が持っていた考え方を明らかにするために「古事記」の研究にうちこみ，「古事記伝」を完成させた。 ②歌舞伎，浮世絵，蘭学，国学について，特色を表すキャッチフレーズをつくり，みんなで発表する。 [国学のキャッチフレーズの例]昔の日本人の心を探る [浮世絵のキャッチフレーズの例]安く楽しめる名所の風景 江戸時代中ごろから，江戸や大阪などの都市を中心として，歌舞伎や浮世絵などに代表される町人文化が展開し，多くの人々の心をとらえるとともに，蘭学や国学などの新しい学問が生まれ，多くの人々の間に広がった。	◆今まで調べたことを整理するとともに，この時代のすぐれた芸術家や学者の活躍が多くの人々に影響をあたえたことをおさえさせ，表現させる。 ◆新しい文化や学問の広がりによって，人々のくらしや考え方が大きく変化したことをおさえさせ，表現させる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，教科書p. 98の人物がどのようなことをしたかをまとめ，歌舞伎，浮世絵，蘭学，国学について特色を表すキャッチフレーズを考える。【1時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	9. 明治の国づくりを進めた人々			教科書のページ	歴史編 p.102～115
配当時数	7時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	11 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(ケ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，文化財や地図，年表などの資料で調べ，この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え，表現することを通して，黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを手掛かりに，我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，文化財や地図，年表などの資料で調べ，黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などについて考え表現している。 ②黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などを関連付けたり総合したりして，この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化などについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 江戸から明治へ				
・**つかむ**　江戸から明治への変化について話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.102～103	1	①江戸時代末ころと明治時代初めの日本橋近くの様子や寺子屋と学校とを比べ，変わったことを明らかにする。 ・服装・髪型・乗り物・建物・ガス灯の有無 ・校舎の様子・先生の服装・学び方など ②江戸時代末から明治時代初めの20～30年くらいの間に社会全体に大きな変化が起きたことを明治維新ということをとらえ，学習問題をつくる。 **学習問題**　明治維新では，だれが，どのように，世の中のしくみを整えていったのでしょうか。	◆江戸時代末と明治時代初頭の事象とを，観点を明確にしながらその違いや変化を明らかにするように促す。	
(2) 若い武士たちが幕府をたおす				
・**調べる**　明治維新を進めた人々は，どのような思いをもっていたのでしょうか。	1	①「ペリーの上陸」の絵やペリーの肖像画などから，江戸時代	◆ペリー来航によってそれまでの日本の社会がど	

p.104～105		末に起こったことを明らかにする。 ・1853年に４せきの軍艦を率いてやってきた。 ・1854年に日米和親条約を結んで開国し，鎖国の状態が終わった。 ・その後，1858年には日米修好通商条約を結んで，外国との貿易が始まった。 ・物価が急に上がって人々の不満が高まった。 ・長州藩や薩摩藩は外国と戦ったが力の差が大きいことがわかった。 ②開国後に武士たちがどのような思いをもって活動し，世の中がどのように変わったのかを明らかにする。 ・木戸孝允，大久保利通，西郷隆盛らは，新しい政府をつくる運動を始めた。 ・15代将軍徳川慶喜は，1867年に政権を朝廷に返した。 ・1868年，明治天皇の名で五箇条の御誓文を定め，新しい時代が始まった。 黒船の来航によって開国をした我が国では，外国の力の大きさを実感した武士たちが江戸幕府を倒して強い国づくりを進めようという思いをもって新しい政府をつくろうとした。	のように変わったのかを丁寧に読み取り，日本と外国との国力の差に気づかせるようにする。 ◆木戸孝允や大久保利通らの略歴をもとに，強い国づくりを目指した人物がどのような業績をあげるのかを予想させて次時以降につなげていく。	
(3) 大久保利通と明治新政府の改革				
・**調べる**　欧米に学んだ大久保利通は，どのような国づくりをめざして取り組んでいったのでしょうか。 p.106～107	1	①新しい政府がどのように政治を進めようとしたのかを調べる。 ・政府の方針が日本中に広まるようにするために，廃藩置県を行った。 ・政治の中心となった大久保利通や木戸孝允らはヨーロッパの国々に追いつくために，工業を盛んに	◆各資料を丁寧に読み取り，各政策の特色を具体的にとらえるようにする。	

		し，強い軍隊をもつという富国強兵に力を入れた。 ②外国で学んだ大久保利通らが進めた取り組みを調べ，国づくりの特色を話し合う。 ・近代的な工業を始めるために，外国から機械を買い，技師を招いて国が運営する官営工場を開いた。（富国強兵） ・武士にかわり，訓練された近代的な軍隊をもつために徴兵令を出した。 ・国の収入を安定させるために，土地に対する税の仕組みを改めた。（地租改正） 新しい政府の中心となった大久保利通らは，欧米に負けない国づくりをめざし，近代的な工業を盛んにし，また経済力と軍事力の強化に力を入れた。	◆富国強兵の意味を，地租改正，殖産興業，徴兵令との関係からとらえさせるようにする。	
(4) 新しい世の中の文化や生活				
・**調べる**　明治時代になって，人々の生活は，どのように変わっていったのでしょうか。 p.108～109	1	①文明開化の意味を明らかにし，人々の生活の変化を調べる。 ・文明開化により，西洋から多くのことが紹介されたり取り入れられたりした。 ・新しい時代の学問を学び，それにふさわしい生き方や考え方に興味をもつ人が多くなった。 ・1871年には身分制度が変わり，国民は平等であるとされた。 ・1872年に学制が公布され，６才以上の男女が学校に通うようになってきた。 ・鉄道が開通したり，郵便制度ができたり，電信が始まったりした。 西洋の新しい考え方や身分制度が取り入れられ，また人々の生活が便利になる仕組みができた。	◆資料1から福沢諭吉の考えを読み取り，江戸時代の身分制度と比較しながらそのよさを明らかにする。 ◆身分制度の他，多くの変化があったことを具体的にとらえさせ，新しい世の中の特色を明らかにする。	

(5) 板垣退助と自由民権運動				
・**調べる**　政府の改革に不満をもつ人々は，どのような行動をとったのでしょうか。 p.110～111	1	①政府の改革に不満をもつ士族の行動を調べ，世の中の変化を明らかにする。 ・多くの士族は，武士として得ていた収入を失って生活に困るようになった。 ・西郷隆盛を中心とする西南戦争などの士族による反乱が各地で起こったが，すべて政府によってしずめられた。 ・その後，言論で主張する世の中に変わった。 ②自由民権運動の特色を調べ，その成果を話し合う。 ・板垣退助らは国会開設を主張し，人々の間にも政治参加を求める声が出てきた。 ・国会を開き，憲法をつくることを求める動きは自由民権運動として各地に広がった。 ・政府はさまざまな条例を定めて厳しく取りしまったが，ついに1890年に国会を開くことを約束した。 特権を奪われた武士たちは武力による反乱を起こしたがやがて言論で主張するようになり，板垣退助らが自由民権運動を広めて政府は国会開設を約束した。	◆例えば，身分制度による士族の立場を明らかにしながらその不満について考えさせ，反乱の意味とその結果を明らかにさせる。 ◆掲載されている資料を丁寧に読み取りながら，国会開設への国民の期待をとらえさせるようにする。	
(6) 伊藤博文と国会開設，大日本帝国憲法				
・**調べる**　伊藤博文は，どのような思いをもって大日本帝国憲法をつくったのでしょうか。 p.112～113	1	①国会開設に先立って板垣退助や大隈重信らが行ったことを調べる。 ・自由党や立憲改進党といった政党がつくられた。 ・日本各地でさまざまな立場の人々が憲法の案をつくった。 ・伊藤博文はドイツで憲法を学び，内閣制度をつくった。また，初代内閣総理大臣に命じられ，憲法	◆例えば，第１回の国会までにどのようなことがあったのかを問い，そのための準備等を明らかにさせる。 ◆大日本帝国憲法の特色を，日本国憲法との比較を通して明らかにする。また，国会の仕組みや選挙権についても同様に行う。	

		をつくる仕事に力を注いだ。 ②大日本帝国憲法や国会の特色を明らかにし，国の政治のあり方について話し合う。 ・1889年，天皇が国民にあたえるという形で大日本帝国憲法が発布された。 ・大日本帝国憲法は，天皇が主権をもち，軍隊を率いたり条約を結んだりするのも天皇であった。 ・国会は，貴族院と衆議院からなり，衆議院議員のみ国民の選挙で選ばれた。 ・選挙権は一定の税金を納めた25才以上の男子のみにあたえられた。 ・1890年に第１回の国会が開かれた。 国会開設に備えて板垣退助や大隈重信らは政党をつくり，また伊藤博文らが中心となって大日本帝国憲法をつくって明治政府の基本的な国の治め方が定まった。		**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(7) まとめる				
・**まとめる**　調べたことを年表でふり返り，学習問題について話し合いましょう。最後に，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.114～115	1	①これまで調べたことを想起し，多くの人物が明治維新でさまざまなことを行ったことを年表にまとめる。 ・木戸孝允，大久保利通，板垣退助，西郷隆盛，伊藤博文らの業績を中心にまとめる。 ②年表などを活用し，明治維新で国や社会の仕組みがどのように変わったのかを話し合って，自分の考えをノートにまとめる。 我が国は，明治維新をきっかけとして欧米文化を取り入れて近代化を進めた。	◆学習問題を確認して特に「だれが」「どのように」を明らかにさせるようにする。 ◆自分の考えをまとめる際には，「ことば」を大切にするとともに，例えば第２時に明らかになった「強い国づくり」が実現できたかどうかについて判断させる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，調べてきたことを年表に整理するとともに，明治維新で国や社会のしくみがどのように変わったのかなど，学習問題についてのまとめをノートに書く。 【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	10. 世界に歩み出した日本			教科書のページ	歴史編 p.116～126
配当時数	6時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	(2)ア-(コ)(シ), イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，地図や年表などの資料で調べ，明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え，表現することを通して，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを手掛かりに，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などについて，地図や年表などの資料で調べ，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて考え表現している。 ②日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などを関連付けたり総合したりして，明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1)条約改正をめざして				
・**つかむ**　日本は江戸時代の終わりに結んだ条約によって，どのようなえいきょうを受けていたのか話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.116～117	1	①ノルマントン号事件の風刺画を見て話し合い，不平等条約の存在に気づく。 ②資料を見て不平等条約の内容について話し合う。 ・外国人が日本で罪をおかしても日本の法律でさばくことができない（領事裁判権）。 ・修好通商条約は，日本に関税自主権が認められていない（輸入品にかける税金を自由に決められない）不平等条約だった。 ③読み取った資料からわかったこと，疑問に思ったことを話し合い，学習問題をつくる。	◆関税自主権がない場合，例えば，輸入される外国産の安い綿織物に高い関税をかけられないので大量に輸入される。そうすると国内産の綿織物は売れなくなる。というように，具体的な物流の例を示して，条約の不平等さに気づかせる。	

		学習問題　日本は，条約改正をめざして，どのような努力をしたのでしょうか。また，世界の中で，日本の立場や国民の生活には，どのような変化が起こったのでしょうか。		
(2)発展していく日本				**★他教科との関連:算数**
・**調べる**　この時代，日本はどのように国づくりを進め，世界に歩み出していったのでしょうか。 p.118～119	1	①紡績工場と製糸工場の写真，前の見開きの年表を見て気づいたことを話し合う。 ・たくさんの女工と呼ばれた人々が朝から晩まで働いていた。 ・日本は，10年間で2回も戦争をしている。 ②「日本の西洋クラブへの仲間入りをえがいたまんが」を見て気づいたことを話し合う。 ・欧米諸国は，日本の仲間入りをあまり歓迎しなかった。 ③条約改正に向けた陸奥宗光の願いや働きを読み取る。 ・1894年，外務大臣の陸奥宗光は，その頃最も力の強かったイギリスと交渉して，領事裁判権をなくすことに成功した。 明治政府の殖産興業政策によって大きな工場がつくられ，工業がさかんになってきた。そのような中で，陸奥宗光が領事裁判権の撤廃に成功した。	◆前の見開きの鹿鳴館でダンスを踊っている女性と，紡績工場で働いている女性を見比べ，同じ時代に，おかれた状況の違いと果たした役割について考えさせる。 ◆「まなび方コーナー」のグラフから工場数が増えた 1894 年，1909年ころに，それぞれ何があったのかを予想させる。	
(3) 中国やロシアと戦う				
・**調べる**　二つの戦争によって，日本と世界の国々との関係は，どのように変わっていったのでしょうか。 p.120～121	1	①「朝鮮をめぐる，日本，ロシア，中国」の風刺画を見て，朝鮮をめぐる三国の関係について話し合う。 ②教科書の本文や資料から二つの戦争の様子や結果を読み取る。 ・日清戦争も日露戦争も，朝鮮半島の支配をめぐる戦いだった。 ・日清戦争で，日本は清から賠償金を得るとともに台湾などを植民地とした。 ・日露戦争で，日本は	◆二つの戦争の原因は，関連が深いことに気づかせる。 ◆グラフから，二つの戦争の戦死者数に着目させ，日本は勝利したものの，二つの戦争によって多大な損害を受けたことに気づかせる。 ◆日本の勝利は，欧米列強に日本の国力の向上を認めさせるとともに，朝鮮半島を支配下におく	

		ロシア艦隊を破り，樺太の南部と満州の鉄道などを得た。 ・日露戦争では，日清戦争よりもずっと多い戦死者が出た。 ・二つの戦争を通して，日本の国際的な地位が向上した。 朝鮮半島や満州の支配をめぐって日清戦争・日露戦争が起こった。日本の勝利は欧米諸国に日本の力を認めさせ，アジアの国々を勇気づけることになった。	ことを認めさせたことに気づかせる。	
(4)世界へ進出する日本				
・**調べる**　世界の中で日本の立場は，どのように変わっていったのでしょうか。 p.122～123	1	①写真や地図を見て，日本が朝鮮の人々にどのようなことをして，それを朝鮮の人々はどう思ったのかを考える。 ②小村寿太郎が条約改正に成功して関税自主権が回復されたことの意義を考える。 ③世界で活躍した日本人の様子や国内での新しい文学や科学の発展について調べる。 ・新渡戸稲造は国際連盟の事務局次長を務めた。 ・北里柴三郎，野口英世らは医学の発展に尽くした。 ・文学の世界では，夏目漱石，樋口一葉，与謝野晶子，正岡子規らが活躍した。 日本は植民地への支配を強めたが，朝鮮の人々は独立運動をねばり強く続けた。小村寿太郎が関税自主権の回復に成功し，欧米諸国と対等な関係を築いた。そして，医学などの研究で世界に認められる学者が現れ，日本の国際的地位の向上に貢献した。	◆教科書の写真やグラフから，朝鮮の人々が日本語を学ばなければならないことになった事実に気づかせ，朝鮮の人々の思いを考える学習につなげる。 ◆医学などの研究の成果が世界に認められ，それが国力の充実や国際的地位の向上につながることに気づかせる。	
(5) 生活や社会の変化				
・**調べる**　産業の発展によって，人々の生活や社会はど	1	①産業の発展によって生活がどのように変	◆盛り沢山な内容なので，写真や	

のように変化したのでしょうか。 p.124～125		わってきたのかを調べる。 ・八幡製鉄所の写真から重工業が発達した様子がわかる。 ・電車やバスなどの交通機関が発達し，ラジオ放送が始まり，洋服が普及するなど，人々の生活や社会が大きく変化した。 ②人々の民主主義への意識の高まりについて調べる。 ・衆議院議員の選挙権が25才以上の男子となった。 ・平塚らいてう，市川房枝などを中心として女性の地位向上をめざす運動が広がった。 産業が発展し，都市化が進む一方で，さまざまな社会問題が起きた。また，人々の民主主義への意識が高まり，普通選挙や女性の地位向上，差別撤廃を目指す運動が起こった。	コラムを参照しながら，本文を丁寧に読ませ，できごとの内容と意味を読み取り，どういう時代であったのかを考えさせる。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(6)まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを人物カードに整理し，最後に，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.126	1	①学習問題について調べてきたことを人物カードに整理する。 ②学習問題を通して考えたことをノートにまとめる。 ・日本は，条約改正をめざして，どのような努力をしてきたのか。 ・日本が条約改正を達成できたのは，日本の国力が充実したからである。 ・世界の中で，日本の立場や国民の生活にはどのような変化が起こったのか。 我が国の産業や科学・文化の発展と国力の充実にともなって日清・日露戦争に勝利し，国際的地位が向上したことで条約改正が達成されたが，他方で，産業の発展は人々の生活や社会に大きな変化をもたらした。	◆それぞれの人物が何をしたのか，そのことには，どのような意義があったのかを考えさせる。 ◆条約改正は，日本の人々のどのような努力によって達成されたのか。条約改正が達成されたことにどのような意義があったのかを考えさせる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，調べてきたことを人物カードの形式で整理するとともに，学習を通して考えたことをノートに書く。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	11．長く続いた戦争と人々のくらし			教科書のページ	歴史編 p.128～140
配当時数	7時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	1月	学習指導要領の内容	(2)ア-(サ)(シ)，イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子，代表的な文化遺産に着目して，地図や年表などの資料で調べたり聞き取り調査をしたりして，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考え，表現することを通して，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを手掛かりに，我が国と中国との戦いが全面化したことや，連合国との戦いによる敗戦，広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子，代表的な文化遺産などについて，地図や年表などの資料で調べたり聞き取り調査をしたりして，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，我が国と中国との戦いが全面化したことや，連合国との戦いによる敗戦，広島・長崎への原爆投下など大きな被害を受けたことなどを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子，代表的な文化遺産などに着目して，問いを見出し，日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて考え表現している。 ②日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などを関連付けたり総合したりして，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことを考えたり，学習してきたことを基に，歴史を学ぶ意味について考えたりして，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 世界文化遺産の原爆ドーム				
・つかむ　被爆前と後の広島の写真や年表などの資料をもとに話し合い，学習問題をつくりましょう。 p.128～129	1	①３枚の原爆ドームの写真を見て，気づいたことや考えたことを発表し合う。 ・まち全体が焼け野原になり，ドームも破壊されている。 ・なぜこんなことが起こったのだろう。 ・原爆ドームはどうして世界文化遺産になったのだろう。 ②原爆ドームが世界文化遺産になった理由を考えたり，長く続いた戦争や当時の人々の生活について話し合ったりして，学習問題をつくる。 ・悲劇が二度と起きないようにとの願いか	◆被爆前と被爆後の写真を比較させ，一発の原子爆弾による被害の大きさについて考えさせる。 ◆なぜ，世界文化遺産に登録されたのかを考えさせ，平和記念資料館の館長さんの話を丁寧に読み取らせる。 ◆年表から戦争が長く続いたことやさまざまなできごとがあったことを読み取らせ，当時の人々の生活について関心をもたせ，	

		ら，原爆ドームの保存運動が進められた。 ・世界平和をめざすちかいのシンボルとして1996年に世界文化遺産に登録された。 ・日本は，長い間，戦争をしていた。 ・戦争中の人々は，どのような生活をしていたのだろう。	学習問題につなげる。	
		学習問題　長く続いた戦争は，人々にどのようなえいきょうをあたえたのでしょうか。		
		③学習計画を立てる。 ［調べること］ ・戦争の移り変わり ・国民はどのような生活をしていたのか。 ・沖縄戦や広島・長崎への原爆投下の被害	◆「この時代の主なできごと」の年表を手掛かりに，学習の見通しと計画を立てるようにする。	
(2) 中国との戦争が広がる				
・調べる　日本が中国で行った戦争は，どのような戦争だったのでしょうか。 p.130～131	1	①満州事変，日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。 ・不景気で生活に苦しむ人が多く，中国に勢力をのばして不景気を回復しようという考えが広がった。 ・満州の利益を守らないと日本がほろびると主張する人々がいた。 ・1931年に，満州にいた日本軍が中国軍を攻撃し，満州事変となった。 ・国際連盟が満州の独立を認めなかったので，日本は国際連盟を脱退し国際的な孤立を深めた。 ・満州から中国各地に戦争が拡大した。 ・中国の人々が日本の侵略に抵抗し，戦争は，長く続くこととなった。 日本は，不景気の回復をはかり，満州での利権を守るため，中国各地に戦争を拡大し，中国の人々に大きな被害をあたえた。	◆年表で年代を確認しながら，「中国との戦争の広がり」の地図に，年表やノートに出てくる「満州国」「北京」「南京」といった地名を丸で囲ませ，中国の戦場が拡大していった様子をとらえさせる。	

(3) 戦争が世界に広がる				★他教科との関連:国語
・**調べる**　戦争は，どのように世界に広がっていったのでしょうか。 p.132～133	1	①そのころの世界の様子を調べる。 ・ドイツがまわりの国々を侵略し，イギリスやフランスなどと戦争になり，アジアやヨーロッパも戦場となる第二次世界大戦となった。 ②日本の戦争の広がりを調べる。 ・石油などの資源を得るため，東南アジアに軍隊を進めた。 ・ドイツ，イタリアと軍事同盟を結び，アジアの地域を支配しようとした。 ・アメリカやイギリスなどの国々と東南アジアや太平洋で戦う太平洋戦争になった。 ・戦場が拡大し，戦争が激しくなると，多くの男性が召集令状によって兵士として戦場に送られた。 ・日本は初めは勝利したが，国力に勝るアメリカ軍の反撃により敗戦を重ねた。 ・国民は，政府の言葉や報道を信じて戦争に協力させられた。 戦争が世界に広がる中で，資源を得るために東南アジアに進出した日本は，やがて太平洋戦争に突入し，アメリカやイギリスなどと戦った。初めは勝利したが，だんだんと敗戦を重ねるようになった。	◆地図から，日本はどのような地域に軍隊を進めたのか調べる活動を取り入れ，東南アジアや広く太平洋の各地で戦ったことをとらえさせる。 ◆戦場となったアジア・太平洋地域の人々にも大きな被害をあたえたことに触れる。 ◆戦場に向かう兵士やそれを見送る家族の気持ちを考えさせる。 ◆日本とアメリカの生産力の差から，日本が敗戦を重ねた理由を考えさせる。 ◆戦争に関する図書資料を図書館で探し読ませてもよい。	
(4) すべてが戦争のために				
・**調べる**　戦争中，人々は，どのような生活をしていたのでしょうか。 p.134～135	1	①戦争中の生活の様子について調べる。 ・人々を戦争に協力させるために政府は戦時体制を強めていき，くらしはすべて戦争のために制限され，戦争に協力しない行動は厳しく取りしまられた。	◆まちの様子，食事や衣類など人々のくらしの様子，学校生活，勤労動員などに分けて整理させる。 ◆可能ならば，当時の国民生活を経験した方にゲ	

		・戦争協力をよびかける看板や，戦争に協力する気持ちを高めるための標語が多くつくられた。 ・天気予報などの情報も戦争に関する重要な情報として国民に知らされなかった。 ・食料や衣類は配給制になった。 ・女子学生が工場で働くようになり，学校でも軍事訓練が行われた。 ・小学生は地方へ集団疎開した。 国民を戦争に協力させるために，政府は戦時体制を強め，くらしはすべて戦争のために制限された。	スト・ティーチャーとしてお呼びし話を聞いたり，戦争に関する資料館を訪ねて調べたりさせたい。 ◆資料からわかったことをもとに当時の人々の思いについて考えさせる。	
(5) 空襲で日本の都市が焼かれる				
・調べる　日本各地の都市は，空襲によって，どのような被害を受けたのでしょうか。 p.136～137	1	①東京大空襲の想像図，空襲の写真，空襲を受けた都市の地図などを調べて，わかったことや考えたことを話し合う。 ・1944年になるとアメリカ軍が日本の都市を空襲するようになり，人々は防空壕を作って逃げこんだ。 ・太平洋ベルトを中心に，全国各地が空襲の被害にあった。 ・軍事施設や工場だけでなく，住宅地も爆撃され，焼け野原になり多くの命がうばわれた。 ・火災を起こす焼夷弾が使われた。 ②「東京大空襲を体験した元木さんの話」から，空襲の被害について考え話し合う。 ・焼夷弾でまちが火の海になったこと。 ・人々は，生きるために必死だったこと。	◆空襲の様子の写真やVTRを利用して，視覚的にも被害の大きさをとらえさせる。 ◆空襲の被害を受けた主な都市の地図から，どのような場所が空襲の被害を受けたのかわかったことを発表させる。全国各地で被害があるが，特に人口の集中している大都市圏や工業の盛んな太平洋ベルトなどで被害が多かったことをとらえさせる。 ◆防空壕や碑など身近にある空襲に関する遺跡なども調べさせたい。	

		各都市の軍需施設や工場だけではなく，住宅地も爆撃され，東京や大阪をはじめ多くの都市が焼け野原になり，多くの命が奪われた。		
（6）原爆投下と戦争の終わり				
・調べる　戦争はどのようにして終わったのでしょうか。 p.138～139	1	①沖縄戦の写真や証言の資料などをもとに調べて，わかったことを話し合う。 ・1945年，アメリカ軍が沖縄に上陸し，一般市民や今の中高生くらいの生徒までが動員された。 ・当時の沖縄県民60万人のうち12万人以上の人が亡くなった。 ②原爆投下や玉音放送を聞く人々の写真などを見て，わかったことや考えたことを話し合う。 ・日本軍は各地で敗北し，多くの都市が空襲の被害を受け，沖縄は占領された。 ・1945年8月6日に広島，8月9日には長崎に原子爆弾が落とされ，一瞬にして何万人もの命が奪われた。 ・日本は8月15日に降伏し，15年にもわたる戦争が終わった。 ・今では，毎年8月15日に全国戦没者追悼式が行われている。 戦争末期，沖縄の激しい戦いで多くの人が亡くなり，広島・長崎には原子爆弾が投下されてたくさんの命が一瞬でうばわれた。ついに日本は降伏し，15年にもわたる長い戦争が終わった。	◆沖縄戦や原爆の様子を撮影した資料を見せ，戦争による被害を具体的にとらえさせる。 ◆戦争の終わりを告げる玉音放送を人々はどのような思いで聞いたのか，考えさせる。 ◆「終戦の日」の式典には，どのような願いがこめられているのか，話し合うようにする。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②③について説明をする。**
（7）まとめる				
・まとめる　これまで調べてきたことを図に整理し，学習問題についての考えをまとめましょう。 p.140	1	①それぞれの場所や立場における戦争の影響や，当時の人々の生活について，調べたことをワークシー	◆今まで学習してきたことをふり返って，思考ツールのまわりの枠に，それぞれ	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，教科書p.140を参考に，それぞれの場所に

		トの図に整理する。 （例） ・戦場となった東南アジア各国の人々に大きな損害をあたえた。 ・広島・長崎の人々は一発の爆弾で，一瞬にして何万もの命がうばわれ，町はふきとんでしまった。 ・満州に渡った人々は，終戦直前にソ連軍が攻めてきて，逃げる中で多くの人が亡くなり，日本に帰れず，残留孤児となった人がいた。 ②戦争が人々にあたえた影響について，調べたことをもとに友達と話し合って自分の考えをワークシートに書く。 ・戦争は，戦場で戦った兵士だけでなく，多くの国民の命をうばい，国民生活に大きな影響と非常な苦しみをあたえた。また，海外で戦場となった国々の人々にも大きな被害をあたえた。このような悲劇を繰り返さないためにも，戦争は二度と行ってはならない。 ③これから自分が平和のためにできることを意見文に書く。 長く続いた戦争は，国民生活に大きな影響を及ぼし，国民や近隣諸国に大きな被害をもたらした。	の場所や立場における人々の被害の様子を書き込み，戦争による被害や影響について整理する。 ◆さまざまな立場の人たちが，戦争によって命を落としたり，犠牲になったり，苦しい思いをしたりしたことから，戦争に対する思いや考えを書くように助言する。 ◆学習したことをもとに，平和な社会を作るために自分のできることを意見文に書くようにする。	おける戦争当時の状況や人々の生活について整理し，戦争が人々に与えた影響について，自分の考えをノートに書く。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

小単元名	12. 新しい日本，平和な日本へ			教科書のページ	歴史編 p.142～155
配当時数	7時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	1～2月	学習指導要領の内容	(2)ア-(サ)(シ)，イ-(ア)

小単元の目標		我が国の歴史上の主な事象について，世の中の様子などに着目して，地図や年表などの資料で調べ，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや，我が国が国際社会において果たしてきた役割を考え，表現することを通して，日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習してきたことを基に過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や，歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①世の中の様子などについて，地図や年表などの資料で調べ，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。
	思考・判断・表現	①世の中の様子などに着目して，問いを見出し，日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などについて考え表現している。 ②日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などを関連付けたり総合したりして，我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや，我が国が国際社会において果たしてきた役割を考えたり，学習してきたことを基に，歴史を学ぶ意味について考えたりして，適切に表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①日本国憲法の制定，オリンピック・パラリンピックの開催などについて，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。 ②学習したことを基に戦後の日本の歩みを振り返り，我が国の課題やそのよりよい解決方法について考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 終戦直後の人々のくらし				
・**つかむ**　写真から気づいたことや疑問を出し合い，学習問題をつくりましょう。 p.142～143	1	①終戦直後の資料から，気づいたことを話し合う。 ・戦争が終わっても，家を焼かれて住むところがなかったり，くらしに必要なものがなかったりして，大変な生活だった。 ・戦後，栄養失調でなくなったり，戦争で孤児になった子どもたちがいたりし，戦争が終わっても大変さは変わっていない。 ②新宿の３枚の写真を見比べて気づいたことを話し合い，学習	◆「まなび方コーナー」で，複数の写真から読み取るポイントを確認させる。 ◆年代に着目させ，短期間に大きな変化が起きていることに気づかせる。	

		問題をつくる。 ・東京オリンピックのころにはかなり復興している。 ・現在はビルも建て替わり，ずいぶんにぎやかだ。 ・焼け野原だったのに，今は発展している。どのように変わっていったのか。 **学習問題**　戦後の日本は，人々のくふうや努力によって，どのように変わっていったのでしょうか。 ③年表をもとに予想を話し合い，学習計画を立てる。 ・日本は戦争のない平和な国になったのではないか。 ・日本は国際社会に戻れたのではないか。 ・日本は，オリンピックが開けるほど，世界に認められるようになったのではないか。	◆年表に書かれているできごとをもとに，日本はどのような国になったのかを考えさせる。	
(2) 民主主義による国をめざして				
・調べる　戦争の後，日本ではどのような改革が行われたのでしょうか。 p.144～145	1	①戦後改革や日本国憲法について調べる。 ・民主主義の国として再出発するために，戦後改革が行われた。 ・女性に選挙権が保障された。 ・教育の制度が変わった。 ・日本国憲法が制定され，日本の進む方向として平和主義と民主主義が定められた。 ②調べたことを年表にまとめ，「一言コメント」を書き込む。 ・男女平等の世の中になった。 ・今の学校の仕組みになった。 日本は，日本国憲法の制定をはじめとする戦後改革を行い，平和で民主的な国家として出発した。	◆戦後改革の概略をつかませ，たくさんの改革が目指している共通点に目を向けさせる。 ◆「一言コメント」には，それぞれの取り組み（できごと）の説明を書くようにさせる。	
(3) 再び世界の中へ				
・調べる　日本が世界の仲間	1	①「サンフランシスコ平和条約」や「国際	◆教科書巻末の折込年表，写真や	

にもどるまでには，どのようなことがあったのでしょうか。 p.146～147		連合への加盟」「産業の復興」について調べ，年表にまとめる。 ・1951年に48か国と平和条約を結んだ。 ・1952年に占領が終わり，主権を回復した。 ・沖縄はまだアメリカに占領されたままだ。 ・ソ連や中国などの国とは，平和条約を結ぶことができなかった。 ・1956年に国際連合への加盟が認められた。 ・アメリカの協力や国民の努力によって産業が復興し，生活が向上した。 日本は，サンフランシスコ平和条約を結んで主権を回復し，国際連合への加盟も認められたことによって国際社会に復帰することができた。その後，アメリカの協力や国民の努力によって産業が復興し，生活が向上した。	地図帳なども活用して，日本の独立までの概要をとらえさせる。 ◆電化製品の普及率のグラフを読み取らせ，産業の復興や生活の向上と関連させて考えさせる。	
(4) 高度経済成長の中の東京オリンピック				
・**調べる**　産業の発展により，人々の生活はどのように変化したのでしょうか。 p.148～149	1	①東京オリンピック・パラリンピックの開催と，それに関連するできごとを調べ，当時の人々の気持ちについて考える。 ・アジアで最初のオリンピックが開かれた。 ・競技施設だけでなく，ホテルが建てられ，道路・下水道が整備された。 ・高速道路や地下鉄も作られ，生活が便利になった。 ・東京と大阪の間に東海道新幹線がつくられ，移動の時間が大幅に短縮された。 ・オリンピックが開催できるほど復興したことを世界に伝えられて，うれしい。 ②東京オリンピック・	◆当時の人々の気持ちについては，吹き出しなどを用いて，その人の立場に立って考えさせる。 ◆調べたことは年表にまとめ，短い期間に急速に発展していることに気づかせる。 ◆どのような場所で公害が発生したのか，５年生の学習を想起させ考えさせたい。	

		パラリンピック開催前後の国民生活の変化について調べる。 ・テレビや自動車が普及した。 ・国民総生産額が世界第２位になった。 ・高度経済成長のかげで，公害などの環境問題が生まれてきた。 東京オリンピック・パラリンピックの開催は国民に自信をあたえるとともに，産業をさらに発展させるきっかけをあたえた。一方，経済の高度成長のかげで公害などの環境問題が起こった。		
（5）変化の中の日本				
・調べる　日本は今，どのような変化の中にいるのでしょうか。 p.150～151	1	①東京オリンピック・パラリンピック後の世界や日本が抱える課題とその取り組みについて調べる。 ・世界各地で起こる紛争を防ぐために，国際連合を中心に，努力がされている。 ・日本では，大きな地震が発生し，大きな被害がもたらされた。被災した地域には，日本中からも外国からも多くのボランティアが集まり，復興の力になった。 ②取り組みについて考えたことを話し合う。 ・課題はたくさんあるが，解決するために努力をしていくことが大切だと思った。 ・避難場所でボランティアをしている小学生もいた。自分たちができることもあると思った。 ・わたしたち一人一人が関わっていくことが大切だと思った。 さまざまな面で世界や日本は変化している。地域や社会の課題に，わたしたち一人一人がこれまで以上に関わっていくことが求められている。	◆資料から，課題は多いが，課題に対してさまざまな取り組みや世界の協力が行われていることにも気づけるようにする。 ◆日本が世界に貢献していることと，日本の災害への海外の協力のつながりについても，これまでの学習から考えさせたい。	

(6) これからの日本を考えよう				
・**調べる**　これからの日本は，どのような国をめざしていったらよいのでしょうか。 p.152～153	1	①世界に広がる日本の文化や技術を調べる。 ・和食がユネスコ無形文化遺産に登録された。日本の食が世界から評価されている。 ・日本のアニメは世界でも人気がある。 ・ノーベル賞を受賞している日本人がたくさんいる。世界に貢献している。 ②現在の日本が抱える課題や果たすべき役割について調べ，考えたことを話し合う。 ［国内の問題］ ・お年寄りや障がいのある人たちの人権 ・子どもや女性の人権 ・アイヌ民族，在日韓国・朝鮮人などへの偏見や差別 ・経済不況，食料自給率の問題 ・東日本大震災からの復興 ［外国との関係に関する問題］ ・沖縄のアメリカ軍基地 ・北朝鮮の拉致問題，核開発 ・領土をめぐる問題 ［世界の問題］ ・戦争と平和，核，環境 日本の文化や技術は，世界で認められ，さまざまな面で世界に貢献している。防災をはじめ，少子高齢化，人権，領土などの課題をどのように解決していくか考えていくことが必要である。	◆日本のよさと課題の両面から，これからの日本のあり方を考えさせる。 ◆児童の生活経験や関心の傾向などを考慮して，話し合う話題を決定するようにする。	**※学習のまとめ方について，何を基に，どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。** **※歴史学習のふり返り方について，p.156～157 の①②③を説明する。**
(7) まとめる				
・**まとめる**　「ことば」を使って，学習問題について調べたことを年表に整理し，キャッチフレーズをつくりましょう。 p.154～155	1	①表に整理されたできごとに，一言コメントを書く。 ・1946年：日本国憲法が公布される ―平和と民主主義が新しく進む方向だと	◆年表を見て，それぞれのできごとによって社会の様子がどのように変わってきたのか考え，一言コメントを書	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，調べたことを教科書の「ことば」を活用して年表に整理すると

		定められた。 ・1964年：東京オリンピック・パラリンピックが開かれる ―産業をさらに発展させた。　など ②時代を表すキャッチフレーズをつくり，友だちと話し合う。 ・「国民に自信をあたえた東京オリンピック・パラリンピック」 理由は，東京オリンピックで自信をつけ，戦後の復興がさらに進んだから。 ・「今の平和な日本のもとになった日本国憲法」 理由は，憲法の三つの原則の一つに平和主義があり，日本は平和と民主主義の国になったから。 戦後の日本は，さまざまな戦後改革を行って，平和で民主的な国家として出発した。そして，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。	くようにさせる。 ◆キャッチフレーズをつくった理由を考えさせることで，社会的意味に気づかせる。	ともに，時代を表す一言コメントとキャッチフレーズを考え，ノートに書く。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

（学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動１時間）

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1)いかす　歴史学習をふり返ろう				
・**いかす**　カードを使って，これまで学習してきた歴史をふり返ろう。 p.156～157	1	①これまで学習してきた時代の社会の様子を書いたカードをつくる。 ・米づくりが始まり，生活や社会の様子が変化した。 ・室町時代のころ生まれた文化は，今も多くの人々に親しまれている　　など。 ②カードを見ながら，現在のわたしたちのくらしとのかかわりについて発表し合う。 ・大陸から伝わった米づくりは，現在では日本各地で行われている。 ・日本の世界遺産など多くの文化財が，人々の努力によって大切に保存されている。 ③歴史を学ぶ意味について考え，意見文を書く。 ・各時代の人々の努力の積み重ねによって，現在の日本や自分たちの生活がある。 ・昔の人々が知恵を出し合い，努力してつくってきた今の日本をさらによい国にしていきたい。	◆「歴史人物のよいところはどこか」「文化遺産が現在に伝えられているのはなぜか」などと発問し，人物の働きや文化遺産の意味に目が向くようにする。 ◆「まなび方コーナー」を活用し，意見文の書き方を確認させる。	「歴史編」の学習をふり返り，学習してきたそれぞれの時代の社会の様子を整理するとともに，現在のわたしたちのくらしとのかかわりや歴史を学ぶ意味について，教科書を参考にノートに意見文を書く。【1 時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**

単元名	3. 世界の中の日本（オリエンテーション）			教科書のページ	政治・国際編 p.64～65
配当時数	１時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動１時間)	活動時期	２月	学習指導要領の内容	(3)アイ

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 人類共通の願い				
・わたしたち人類は，どのような共通の願いをもっているのでしょうか。 p.64～65	1	①国際社会が抱える問題の解決に向け，日本のわたしたちが，世界の人たちとどのようなことをしていけばよいのかを話し合う。 ・さまざまな問題の解決に向けて，世界の人たちと協力していく必要があること。 **めあて**　わたしたちは，どのようにして，世界の人々とともに生き，平和な社会を築いていけばよいのでしょうか。	◆ニュースなどで見聞きしたことをもとに話し合わせる。	ニュースや新聞などで国際的な報道を見聞きし，教科書を読んで，世界のさまざまな問題の解決に向けて，どのように世界の人々とかかわっていけばよいか考える。【１時間】

小単元名	1. 日本とつながりの深い国々			教科書のページ	政治・国際編 p.66～97
配当時数	7時間 （そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動なし）	活動時期	2月	学習指導要領の内容	(3)ア-(ア)(ウ)，イ-(ア)

小単元の目標		グローバル化する世界の日本の役割について，外国の人々の生活の様子などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで日本の文化や習慣との違いを捉え，国際交流の果たす役割を考え，表現することを通して，我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は，多様であることや，スポーツや文化などを通して他国と交流し，異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①外国の人々の生活の様子などについて地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，日本の文化や習慣との違いを理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ，我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国の人々の生活は，多様であることや，スポーツや文化などを通して他国と交流し，異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	①外国の人々の生活の様子などに着目して，問いを見出し，日本の文化や習慣との違いについて考え表現している。 ②世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて，国際交流の果たす役割を考えたり，学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①外国の人々の生活の様子について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 ②学習したことを基に世界の人々と共に生きていくために大切なことなどを多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 日本と関係の深い国を探そう				
・つかむ　これまでの社会科の学習や日ごろの生活をふり返り，日本とつながりの深い国を見つけて，話し合いましょう。 p.66～67	1	①外国から入ってきた身のまわりのものや文化やスポーツを通じた交流について話し合う。 ・日本人の野球選手が，アメリカの大リーグで活躍している。 ・日本の文化は，昔から中国の影響を受けていた。 ・韓国とは近く，サウジアラビアから石油を輸入するなど，日本は，いろいろな国と輸出入の関係がある。	◆生活経験やこれまでの学習経験をもとに，日本と関係がある国との関わり方を出させ，自分の生活が外国と関わりがあることに気づかせる。 ◆世界の国々について知っていることを発言し，日本とのつながりを意識しながら，調べたいことを見つけさせる。	

		②日本と関係が深そうな国を四つに整理する。 日本は，ものや人の行き来や文化やスポーツなどの交流を通して，世界のさまざまな国とつながりをもっている。		
(2) 調べる国を決めよう				★他教科との関連：外国語
・**つかむ**　学習問題をつくり，日本とつながりの深い国を１か国選び，人々の生活について調べる学習計画を立てましょう。 p.68～69	1	①４か国の基本情報を整理し，日本とつながりの深い国々について調べてみたいことを話し合い，学習問題をつくり，予想を出し合う。 ・気候や宗教によって，服装や食べ物がちがってくるのではないか。 ・中国や韓国などの近い国なら，共通点が多いと思う。 ・産業や文化，スポーツなどでつながりが深いかもしれない。 **学習問題**　日本とつながりの深い国の人々は，どのような生活をしていて，その生活には日本とどのようなちがいがあるのでしょうか。 ②学習問題について予想し，学習計画を立てる。	◆関わりが深い国の中から，自分で調べたい国を一つ選ぶとき，似ている点やちがっている点を探すように見通しをもたせるようにする。	
＊児童に4か国から1か国を選択させる。				
アメリカと日本 p.70～75				
(3) アメリカの学校の様子				
・**調べる**　アメリカの小学生は，どのような生活をしているのでしょうか。 p.70～71	1	①アメリカの学校の様子について，テレビ電話でアメリカに住んでいる人に質問をしたり，集めた資料を活用したりして調べる。 ・小学校への通学は，自転車やスクールバスなどを利用し，成績がよい場合は飛び級制度がある。 ・いろいろな人種や民族の子どもが通っている。 ・夏休みが２か月あって，日本よりも長い。	◆日本の学校生活と比較させながら，似ている点やちがう点を意識させながら調べさせる。	

		アメリカの学校と日本の学校では同じ点やちがう点があるが，大きなちがいは能力によっては飛び級できたり，いろいろな人種の人が学び合ったりしているところである。		
(4) 人々のくらしと年中行事				
・**調べる**　アメリカの人々のくらしや年中行事は，どのようなものでしょうか。 p.72～73	1	①アメリカの人々の休日の過ごし方や年中行事について調べ，話し合う。 ・休日に，家族でハイキングに行ったり，野球の試合を見たりして過ごしている。 ・ハロウィンには仮装をしてお菓子をもらったり，感謝祭では家族でごちそうを食べたりしている。 アメリカでは国土が広いため，車で出かけることが多く，家族や親戚で集まってさまざまな年中行事を祝う習慣がある。	◆休日の過ごし方や年中行事について，自分たちの様子と比べながら調べさせる。 ◆アメリカの文化やスポーツが世界に影響を与えていることに気づかせる。	
(5) 広い国土を生かした産業と多文化社会				
・**調べる**　アメリカには，どのような産業があり，どのような人々がくらしているのでしょうか。 p.74～75	1	①アメリカの産業や多文化社会について，集めた資料を活用して調べ，話し合う。 ・広い国土を生かして，小麦や大豆を大量に生産していて，日本とちがう。 ・多文化社会と言われ，ロサンゼルスには日系人が多く住んでいて，日系人の祭りがある。 ②アメリカについて調べてきたことを，カードに整理する。 ・学校や人々の様子，仕事や産業の様子について調べたことをカードに整理する。 アメリカは，広い国土を利用して農業，工業，宇宙開発など世界をリードしている。また，建国以来，多くの移民を受け入れてきた多文化社会である。	◆広い国土をもつアメリカは，さまざまな人種や民族の人が移住してきた多文化社会であることを資料からとらえさせる。 ◆アメリカの文化にはどのような特色があるのかをとらえさせる。	

中国と日本 p.76～81				
(3) 中国の人々の生活				
・**調べる**　中国のまちや小学校の様子は，どのようになっているのでしょうか。 p.76～77	1	①中国のまちや小学校の様子について，集めた資料を活用して調べ，話し合う。 ・ペキンには，高層ビルや世界文化遺産があり，ファッションも日本と同じように楽しんでいるが，古い家も残っている。 ・「一人っ子政策」の影響で，きょうだいがいない子どもも多い。 ・都市では受験に熱心である。 中国のまちや小学校の様子には，日本と同じ点やちがう点がある。	◆収集した資料から，日本との相違点について整理させる。 ◆日本の学校生活と比べてどのようなちがいがあるのかに着目して考えさせる。	
(4) 中国の伝統的な文化				
・**調べる**　中国には，どのような文化や行事があるのでしょうか。 p.78～79	1	①中国の文化や行事について，収集した資料を活用して調べ，話し合う。 ・中国には，50以上の民族がいて，服装や習慣などの生活様式がそれぞれちがう。 ・伝統的な行事である春節は，日本の正月にあたる。故郷に帰省する人も多い。日本にも，横浜や神戸に中華街や南京町があり，春節の行事を盛大に行っている。 中国の伝統的な行事には，日本と同じ点やちがう点がある。また，日本は中国の影響を受けている。	◆第５学年の産業の学習や第６学年の歴史の学習を想起させ，日本との結びつきについて，歴史や文化，人の行き来など，多面的にとらえさせる。	
(5) 経済が発展した中国と人々の生活				
・**調べる**　中国の産業の発展によって，人々の生活は，どのように変化したのでしょうか。 p.80～81	1	①産業の発展によって，人々の生活はどのように変化したのか，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・急速な発展によって，生活スタイルが変化した。タワーマンションが増えた。 ・経済特区と呼ばれる外国の企業も進出する地区があり，日本と貿易も盛んだ。	◆中国の経済発展は，人々にどのような影響を与えたのかに着目して考えさせる。 ◆聞き取り調査を実施できた場合は，そこで得たことを生かしてまとめさせる。	

		②中国について調べてきたことを，ノートや作文に整理し，話し合う。 ・日本と大切なパートナーである。 ・オリンピックやパラリンピックが開催された。中国のよさを見つけたい。 中国は，経済発展を続け，日本との結びつきが強まっている。また，世界から，中国の発展が注目されている。		
韓国と日本 p.82～87				
(3) 韓国の人々の生活				
・**調べる**　韓国の学校の様子，伝統的な行事や習慣は，どのようなものでしょうか。 p.82～83	1	①韓国の学校の様子，伝統的な行事や習慣について，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・英語とコンピューターの授業がさかん。 ・ソルラルという旧正月は，大切な行事の一つである。 ・韓国式のサウナは日本人にも人気がある。 韓国は，日本に近いためか，小学校の様子，伝統的な行事や習慣には，日本と同じものが多い。しかし，韓国独自の行事などもある。	◆韓国の学校生活と日本の学校生活を比べることで，共通点が多いことに気づかせる。	
(4) 韓国の文化と日本との交流				
・**調べる**　韓国の文化には，どのような特色があるのでしょうか。 p.84～85	1	①韓国の文化には，どのような特色があるのか，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・主食は米で，日本と同じようにはしやスプーンを使うが，食器の使い方が違う。 ・儒教の教えが大切にされ，年長者を敬う考えが浸透している。 ・日本と韓国は，スポーツやアニメ，音楽などの文化の交流がさかん。	◆日本の習慣と似ているところやちがうところは，どのようなところがあるのかに着目させて調べさせる。	

		韓国の文化には，年長者や伝統を重んじる特色がある。日本とは文化やスポーツの交流がさかんである。		
(5) 産業の発展と人々の生活				
・**調べる**　韓国の人々の生活にかかわる産業には，どのような特色があるのでしょうか。 p.86～87	1	①韓国の人々の生活に関わる産業の発展や特色について，インタビューや資料を活用して調べ，話し合う。 ・半導体や薄型テレビなどの産業が発展している。 ・世界規模の電機メーカーも多くあり，世界150以上の都市と結ばれたハブ空港を備え，物や人々の行き来がさかん。 ②韓国について調べてきたことをノートや新聞に整理して，ふり返る。 ・学校生活は，日本と似ている部分が多い。 ・年中行事や儒教の教えを大切にしている。 韓国は，半導体や電気機械の産業が発展して，日本やアジア諸国だけではなく，世界の多くの都市と結びついている。	◆第５学年の産業や第６学年の歴史学習で学んだことを想起させ，日本との関わりや相違点をとらえさせる。	
サウジアラビアと日本 p.88～93				
(3) 気候に合わせたくらしと宗教				
・**調べる**　サウジアラビアの人々の生活にかかわる気候や宗教には，どのような特色があるのでしょうか。 p.88～89	1	①サウジアラビアの人々の生活に関わる気候や宗教には，どのような特色があるのか，資料を活用して調べ，話し合う。 ・夏はとても暑く，冬には気温が大きく下がり，砂漠のイメージが強いが，雨や雪の降る地域や都市もある。 ・イスラム教では，１日５回のお祈りをし，１か月間，日中は食事をとらないラマダンを行う義務がある。 ・食べ物や食べ方に特	◆収集した資料から，日本の気候との相違，土地の様子の相違，宗教と生活の関わりに着目して調べさせる。	

		色がある。 サウジアラビアには，さまざまな気候の地域があり，国教であるイスラム教の教えが，人々の生活に大きく影響している。		
(4) サウジアラビアの人々の生活				
・**調べる**　サウジアラビアの生活の様子や学校には，どのような特色があるのでしょうか。 p.90～91	1	①サウジアラビアの生活や学校の様子には，どのような特色があるのか，資料を活用して調べ，話し合う。 ・昼間が暑く，外出する人が少ないため，大型スーパーは遅くまで営業している。 ・学校などの公共の場は，男女の区別があり，小学校は日本と同じく６年間通う。コーランの授業が毎日あるのが日本とちがう。 サウジアラビアの生活の様子や学校の特色は，日本と似ているところもあるが，気候やイスラム教に影響を受け，ちがっているところもある。	◆日本と同じことやちがうことを意識させながら調べさせる。	
(5) 石油の国，サウジアラビア				
・**調べる**　サウジアラビアの産業と人々の生活には，どのようなかかわりがあるのでしょうか。 p.92～93	1	①サウジアラビアの産業と人々の生活について，資料を活用して調べ，話し合う。 ・日本は石油をサウジアラビアから最も多く輸入している。 ・サウジアラビアは，石油を輸出して得たお金を教育や福祉に使っている。 ・最近では，観光業に力を入れている。 ②サウジアラビアについて調べてきたことをノートに整理してふり返る。 ・サウジアラビアは，宗教の教えを大切にしている。 ・日本と産業でつながりが深い。 ・サッカーやらくだレースがスポーツではさかん。	◆産業と人々の生活について調べることを通して，貿易や文化交流の点で日本とつながりが深いことに気づかせる。 ◆調べたことを，項目ごとにノートにわかりやすく整理させる。	

		サウジアラビアは，石油産業を通して教育や福祉を発展させていて，貿易や文化の交流を通して日本ともつながりが深い。		
(6) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べてきたことを話し合い，自分の考えを意見文にまとめ，発表会を開きましょう。 p.94～95	1	①学習問題について調べてきたことを話し合う。 ・学校生活では，四つの国とも日本と似ているところやちがうところがある。 ・調べてきた国は，どの国も産業などでつながりが深い。 ②日本と似ているところと，大きくちがうところを表に整理して，話し合う。 ・日本の正月の行事は，韓国や中国など近い国と似ている。 ・サウジアラビアの生活は，宗教の影響が強いところが日本とちがう。 ③学習問題に対して，考えたことを意見文にまとめ，発表する。 ・異なる習慣や文化も，認め合うことが大切である。 ・アジアなど近い国は，学校生活など日本と似ているところが多かった。 日本とつながりの深い国々は，それぞれに特色がある文化やスポーツ，習慣があり，お互いにそのちがいを認めることが大切である。	◆今まで調べたことを整理するとともに，話し合いを通じて，それぞれの国には日本とのつながりがあり，またそれぞれ異なる特色があることに気づかせる。 ◆意見文の発表会を開くなどして，外国の人々とともに生きていくためには，異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることをとらえ，実感させる。	**※4 か国から 1 か国を選択して，それぞれ調べ学習を行い，まとめの時間に 4 か国を合わせて整理する時間であるため，授業で行う。**
(7) 国際交流について考えよう				
・**いかす**　国際交流について調べ，そのよさについて話し合いましょう。 p.96～97	1	①オリンピック・パラリンピックと国際交流について調べ，国際交流の果たす役割について話し合う。 ・オリンピックは，スポーツを通して，体と心をきたえ，世界の国々が交流し，平和な社会をつくることを大切にしている。	◆グローバル化の中で，日本は世界の人と生きていくためには，どのようなことが必要なのかをこれまでの学習を通して，ふり返らせ，考えさせる。	

		・年々，参加国が増えている。 ②国際交流について調べ，話し合う。 ・留学生などとコミュニケーションを図る。 ・日本の伝統芸能である「歌舞伎」は多くの国で公演するなど世界に広める努力をしている。 ③スポーツなどの国際大会で多くの外国の人が日本に来た時に，どのように関わることが必要なのかを考え，キャッチフレーズとその理由をまとめる。 スポーツや文化を通して他国と交流し，異なる文化や習慣を尊重することが大切である。また，日本は，外国の言語や文化を進んで摂取したり日本の文化を海外に広めたりしている。		

小単元名	2. 世界の未来と日本の役割			教科書のページ	政治・国際編 p.100～111
配当時数	6時間(そのうち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動1時間)	活動時期	3月	学習指導要領の内容	(3)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)

小単元の目標		グローバル化する世界の日本の役割について，地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して，地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめることで国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え，国際社会において我が国が果たしている役割を考え，表現することを通して，我が国は，平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり，諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに，主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や，学習したことを基に，今後，我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとする態度を養う。
小単元の観点別評価規準	知識・技能	①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などについて，地図帳や地球儀，各種の資料で調べて，必要な情報を集め，読み取り，国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ，我が国は，平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり，諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。
	思考・判断・表現	①地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して，問いを見出し，国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え表現している。 ②地球規模で発生している課題の解決策と我が国の国際協力の様子を関連付けて，国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり，学習したことを基に今後，我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	①国際社会において我が国が果たしている役割について，予想や学習計画を立てたり，学習をふり返ったりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。 ②学習したことを基に，今後，我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとしている。

本時のめあて	時数	学習活動	指導上の留意点	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
(1) 世界の各地で起こる紛争				
・**つかむ**　世界のさまざまな課題と解決に向けた取り組みを調べ，学習問題をつくりましょう。 p.100～101	1	①世界で紛争が起こっていることを調べる。 ・紛争が世界各地で起こっている。 ②紛争のほかに，世界にどのような課題があるのかを明らかにし，これらを解決するための取り組みについて調べるための学習問題をつくる。 **学習問題**　世界のさまざまな課題を解決するために，日本は世界と協力して，どのような活動をしているのでしょうか。	◆資料3を丁寧に読み取り，特に多い地域を調べてみるように促す。 ◆多様な課題があることを明らかにするとともに，既習事項である国際連合と関連づけて解決のあり方の予想につなげていく。	

(2) 国際連合で働く人々				
・**調べる**　国際連合で，日本の人々はどのようなことをしているのでしょうか。 p.102～103	1	①国際連合の特色や日本の関わりについて調べる。 ・日本はアメリカと中国に次いで多くの分担金を出している。 ②ユニセフなどの取り組みを調べ，その働きや日本の取り組みを調べる。 ・日本は，国際連合の一員として世界各地の平和維持活動に参加してきた。 国際連合では多くの国々が協力して平和と安全，人類の福祉のために活動しており，日本の人々もさまざまな活躍をしている。	◆「ことば」や国際連合憲章を丁寧に読み取り，特に日本の役割に着目させていくようにする。 ◆「まなび方コーナー」を活用して国連機関について調べるように促す。また，資料2の中満泉さんや資料6の自衛隊の活動についても着目させる。	
(3) 持続可能な社会をめざして				**★他教科との関連:理科**
・**調べる**　豊かさと環境保全を両立させるために，世界や日本はどのような努力や協力をしているのでしょうか。 p.104～105	1	①「持続可能な社会」の意味や具体的な取り組みを明らかにする。 ・未来にわたってより多くの人々が豊かな生活を送るためには，国連などの計画にもとづいた国際的な協力が必要である。 ②「持続可能な開発目標（SDGs）」について調べ，持続可能な社会を実現するための取り組みがあることを理解し，これからの日本の取り組みを考える。 ・「だれひとり取り残さない」という理念のもとに設定された目標である。 地球環境の悪化を防ぎ，持続可能な社会を実現するために，世界や日本には現地の人々と協力して環境保全に努めている多くの人々がいる。	◆資料1～4を丁寧に読み取ってさまざまな環境問題があることをとらえさせ，これらを解決する必要を感じさせるようにする。 ◆SDGsは新聞などでも取り上げられているので紹介し，具体的な取り組みが必要であるという意識も醸成させていく。	
(4) 国際協力の分野で活やくする人々				
・**調べる**　日本は，どのような国際協力の活動をしているのでしょうか。 p.106～107	1	①ODAの意味や青年海外協力隊の具体的な取り組みを調べる。 ・ODAとは政府による国際協力の活動である。 ②NGOの意味をとらえ，具体的な取り組みを調べる。	◆「セネガルで活動した清水さんの話」を丁寧に読み取らせ，青年海外協力隊の取り組みの意味を考えるように促す。	

		・日本にも，医療や環境など，専門性を生かした分野で活躍している多くの団体があり，世界各地でさまざまな国際協力の活動を行っている。 日本のNGOや青年海外協力隊は，支援を必要としている多くの国々の人々のために，教育，衛生，農業などの分野で活躍をしている。	◆「NGO レポート」を丁寧に読み取らせ，例えば医療に携わる意味を多角的にとらえさせる。	**※学習のまとめ方について，何を基に、どのようにまとめるのか，次時の①②について説明をする。**
(5) まとめる				
・**まとめる**　学習問題について調べたことをふり返り，自分の考えをノートにまとめましょう。 p.108～109	1	①これまでに調べた，さまざまな機関やそれに携わる日本の人々が世界のさまざまな課題を解決するために取り組んでいることを想起してその意味や役割を話し合う。 ②自分の考えをノートにまとめ，発表する。 世界には解決すべき課題がいくつもあり，日本の人々はこれらを解決するために国際連合や青年海外協力隊，NGOなどの活動を通して積極的に世界の平和と発展に貢献している。	◆さまざまな取り組みの共通点や類似点を明確にするように促す。その際，「ことば」にある「持続可能な社会」「国際協力」などを視点として考えさせる。	教科書やノートを見ながら学習をふり返り，世界のさまざまな課題を解決するための国連を中心とした取り組みや日本の人々の活動を整理するとともに，学習問題について考えたことをノートに書く。【１時間】 **※各自まとめたものを提出させ，一人一人の学習状況を確認する。**
(6) 紛争や難民をなくすために				
・**いかす**　これからを生きるわたしたちにできることを考えましょう。 p.110～111	1	①本文を読んで世界の課題が十分に解決されているかを調べ，自分たちができることを考える。 ・国連から届けられる物資は十分ではなく，健康を害する人や栄養を十分にとることができない子どもたちも世界にたくさんいる。 ・平和を続けることが難しい場合がある。 国際社会には解決が難しい問題があり，今後継続して取り組もうとすることが必要である。	◆解決のためには改めて何が必要かを考えさせながら，今の自分にできること，将来どのようなことがしたいかを明らかにするように促す。	